

令和8年度

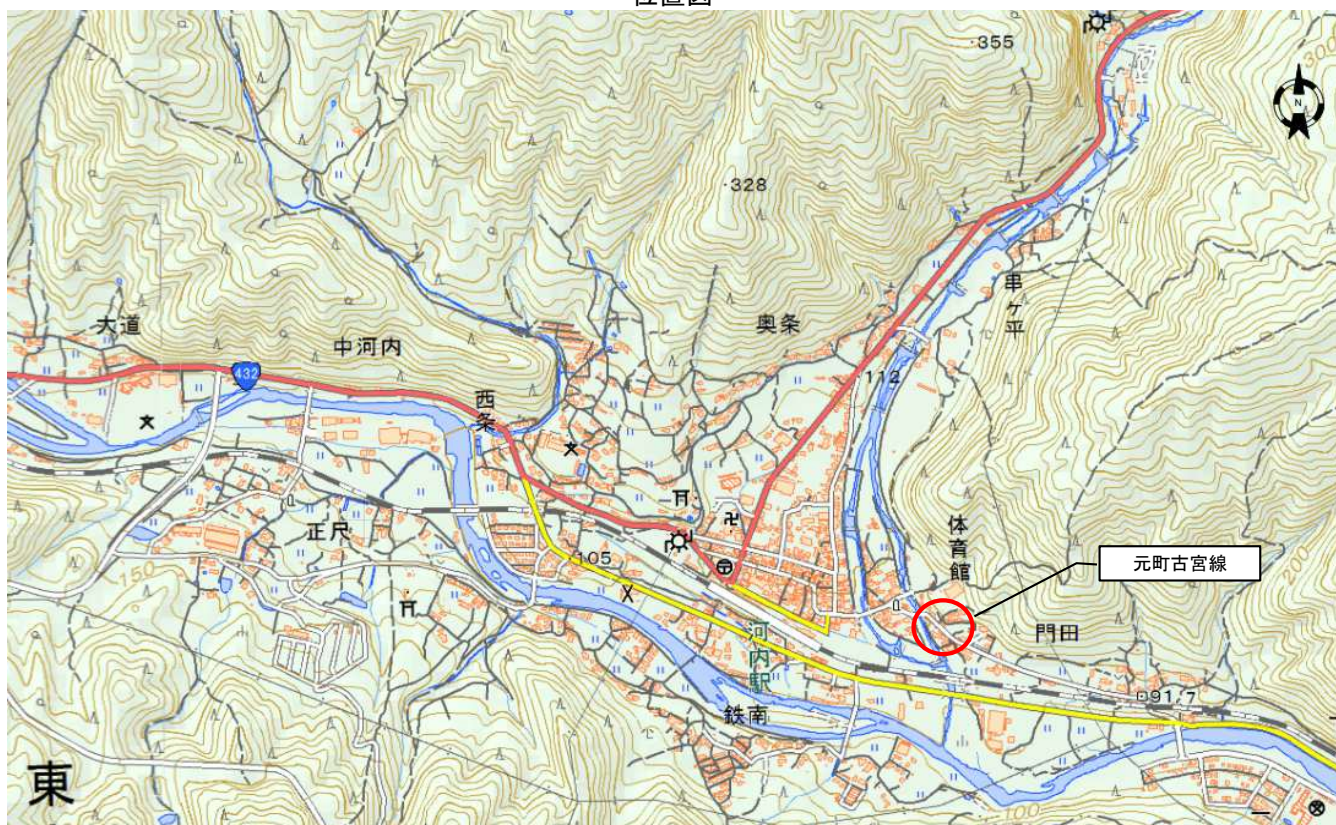
道路維持修繕事業

元町古宮線道路修繕工事

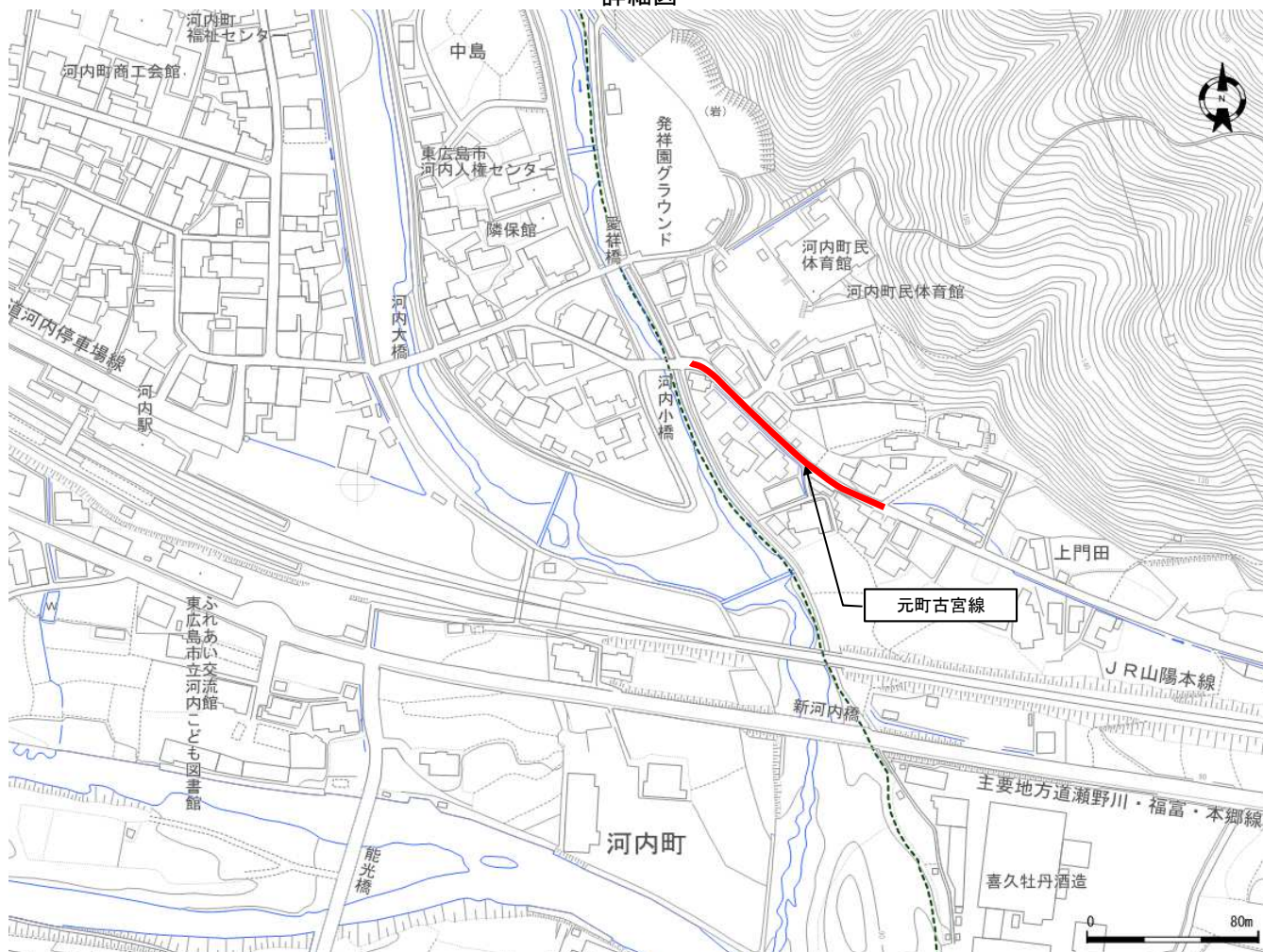
仕様書

施 工 場 所 東広島市河内町下河内

位置図



詳細図



特 記 仕 様 書

(元町古宮線道路修繕工事)

第1章 総則

1. 適用
2. 前払金
3. 現場代理人の兼務
4. 現場作業終期日
5. 履行報告
6. 官公庁等への手続き等
7. 工事中情報共有システム（受注者希望型）
8. 熱中症対策に資する現場管理費の補正
9. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について
10. 法定外の労災保険の付保
11. 週休2日適用工事等 週休2日
12. 建設副産物の取り扱いについて
13. 猛暑時間の施工回避
14. 猛暑日等を考慮した工期延長について
15. 熱中症による健康障害発生時の対応計画

第2章 工事材料

1. 見本・品質証明資料
2. 品質規格証明資料等
3. 溶融スラグを利用した資材の使用

第3章 施工条件

1. 安全対策
 - (1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員
 - (2) 架空線の防護管に要する費用について
2. 建設副産物
 - (1) 建設発生土(搬出)（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)）
 - (2) コンクリート殻(無筋)(搬出)
 - (3) アスファルト殻(搬出)

第4章 その他

1. 工事関係書類
2. 工事写真
3. 疑義の解決等
4. 水道施設に関すること

特記仕様書

第1章 総則

1. 適用

本工事の施工にあたっては、「土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）」及び東広島市制定の第15編下水道編(最新版)に基づいて実施しなければならない。
この場合においては、次のとおりとする。

- (1) 「広島県」とあるのは「東広島市」と読み替える。（ただし、第1編第1章第1節1-1-1-26第10項、第1編第1章第2節1-1-2-1第3項、1-1-2-8第1項、1-1-2-9第1項、1-1-2-10第1項、1-1-2-11第1項、第6項、第8項、1-1-2-14第2項、1-1-2-16第1項、第3項、第2編第1章第3節2-1-3-1、第3編第1章第2節3-1-2-3第2項においては読み替えない。）
- (2) 「建設工事請負契約約款」とあるのは「東広島市の建設工事請負契約約款」と読み替える。
- (3) 「土木工事監督規程」とあるのは「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と読み替える。
- (4) 「土木工事検査規程」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と読み替える。
- (5) 「建設工事執行規則第19条の1」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第19条第1項」と、「建設工事執行規則第41条の2」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第41条第2項」と読み替える。
- (6) 「広島県契約規則第2条の1」とあるのは「東広島市契約規則第2条第1項」と読み替える。
- (7) 「土木工事検査技術基準」とあるのは「東広島市の「土木工事検査技術基準」」と読み替える。
- (8) 「低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と読み替える。
- (9) 「広島県の建設工事入札参加資格」とあるのは「東広島市の競争入札参加資格」と読み替える。
- (10) 広島県の「建設業者等指名除外要綱」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱」と「建設業者等指名除外要綱別表第18号」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱別表第22号」と読み替える。
- (11) 「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と、「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱第10条」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領第11条」と読み替える。
- (12) 「県発注工事等における暴力団排除のための契約制限要綱」とあるのは「東広島市建設工事暴力団等排除要綱」と読み替える。

(13) その他

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
1	1	2	5	工事の下請負	3から6まで	適用しない。
1	1	2	14	施工管理	1	適用しない。
1	1	2	16	環境対策	4	適用しない。
1	1	3	3	現場代理人及び主任技術者又は監理技術者	5から6まで	適用しない。
1	1	3	4	下請負及び契約の制限	1(2)	適用しない。
1	1	3	5	主要資材の購入		適用しない。
1	1	3	7	契約後VE工事		適用しない。
1	1	3	9	県産材の活用	(2)	適用しない。
1	1	3	10	工事現場の現場環境改善等		適用しない。
1	1	3	11	現場環境改善（ウィークリースタンス）の実施	(4)[2]から[7]まで	適用しない。
3	1	1	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	1	2	工程表		適用しない。
3	1	1	7	工事完成図書の納品	2から6まで	適用しない。
3	1	1	8	技術検査	3から5まで	適用しない。
3	1	2	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	2	2	工程表		適用しない。
3	1	2	5	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	2	6	提出書類	2	適用しない。
3	1	3	1	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	3	2	技術検査	2	適用しない。

2. 前払金

契約金額が50万円以上の建設工事の場合は前払金を請求することができる。前払金は請負代金の40%以内とする。また、契約に当たって契約約款特約事項第22項により中間前払金を選択するものにあつては、中間前払金は請負代金の20%以内とする。その他、前金払・中間前金払の適用は次の要領による。

- ・建設工事請負代金前金払実施要領
- ・建設工事請負代金中間前金払実施要領
- ・東広島市余裕期間制度適用工事に係る事務取扱要領

3. 現場代理人の兼務

- 1 現場代理人の兼務については、「技術者等の適正配置について」によるものとする。
 - 2 発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人の兼務について承認の適否を決定し、承認する場合は現場代理人兼務承認書により、承認しない場合は現場代理人兼務非承認書に承認しない理由を記載の上、速やかに受注者に通知する。
 - 3 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めたときは、現場代理人兼務承認取消書により、その承認を取消すものとする。
 - (1) 兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき
 - (2) 兼務を承認した日から起算して14日（東広島市の休日を定める条例（平成元年東広島市条例第6号）第1条第1項に規定する市の休日を除く。）を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき
 - (3) 兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
 - (4) 兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき
 - (5) 著しい状況の変化により、兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - (6) その他、発注者が兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - 4 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務の承認後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行うことがある。
- ※ 同一町内における町とは西条町、八本松町、志和町又は高屋町にあつては昭和49年4月20日前の町の区域とし、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町又は安芸津町にあつては平成17年2月7日前の町の区域とする。

4. 現場作業終期日

本工事の施工に当たっては、工期末の30日前までに、下記の作業を終了しなければならない。

なお、現場作業終期日までに適時、速やかに「土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版」第1編1-1-1-23第2項第3号に記載してある出来高が確認できる資料を監督職員に提出しなければならない。

5. 履行報告

履行報告の提出にあたっては、実施工程表と平面図（施工済み箇所を着色）又は、進捗状況が確認できる写真を添付すること。なお、月締め報告とし、翌月7日までに提出すること。

6. 官公庁等への手続き等

受注者は、関係官公庁及びその他の関係機関との諸手続きにおいて許可、承諾等を得た場合はその書面（写し）を提出するものとし、更新手続き（許可内容が同じもの）の場合は、届出等の鑑のみとする。

7. 工事中情報共有システム（受注者希望型）

- (1) 本工事は、工事中情報共有システムの対象（受注者希望型）である。
- (2) 工事中情報共有システムを利用するにあたり、発注者に連絡の上、利用申込すること。
- (3) 本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。

広島県工事中情報共有システム（一般社団法人 広島県土木協会）
<http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyoushishutemu2.html>
- (4) 工事中情報共有システム利用に必要な費用は設計金額に含まれている。
- (5) 利用にあたっては「東広島市発注工事における広島県工事中情報共有システム利用実施要領」に基づくこと。

(6) 運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づくこと。

この場合においては、次のとおりとする。

- 1) 「1.3.適用する基準」のうち、「土木工事監督規定（広島県）」および「土木工事監督実施要領（広島県）」は「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と、「土木工事検査規定（広島県）」とあるのは「東広島市建設工事検査規定」と、「土木工事検査技術基準（広島県）」とあるのは「土木工事検査技術基準（東広島市）」と読み替えるものとする。
- 2) 「CAD製図基準（国土交通省）」および「CAD製図基準に関する運用ガイドライン（国土交通省）」は適用しない。
- 3) 「4.検査」は適用しない。
- 4) 検査は、発注者と協議のうえ、紙媒体による検査と電子検査の併用とすることができるものとする。
- 5) 受注者は、工事中情報共有システムにより処理した工事完成図について、電子成果品として納品するほか、紙の成果品も納品すること。

8. 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- (1) 本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- (2) 工期(工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日、後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日次の日から土曜日、日曜日、振替休日を除く3日間とする。）、工場制作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
- (3) 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。
ただし、夜間工事のみの場合は、作業時間帯の最高気温または最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
- (4) 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温または環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。
- (5) 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督職員に提出すること。
- (6) 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督職員と協議するものとする。
- (7) 積算方法は次のとおりとする。

1) 補正方法

ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。
なお、現場管理費率の補正は「積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本補正値を合計し、2%を上限とする。

イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期

ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2

2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。

- (8) 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることができる。
- (9) 検査職員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

9. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について

東広島市発注工事における主任(監理)技術者及び現場代理人の配置についての取り扱いは、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

10. 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第47条に基づき、法定外の労災保険の契約締結をしたときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働者災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）全国建設業労災互助会、全日本火災共済協

同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、契約を締結しているものとする。

11. 週休2日適用工事等 週休2日

本工事は、週休2日適用工事（発注者指定型）であり、「東広島市週休2日適用工事等実施要領（最新版）」に従うこと。

なお、実施要領に基づき提出する必要がある様式「休日取得計画表」は「検査課HP＞施工関連資料＞週休2日適用工事等の実施について」に掲載している。

12. 建設副産物の取り扱いについて

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1 再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

なお、対象となる工事は請負代金額が100万円以上、または建設発生土の搬出が500m³以上の工事を対象とする。

(1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

(1) 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。

(2) 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

- (3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
- (2) 建設発生土の搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
- (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
- (4) 建設発生土の搬出量
- (5) 建設発生土の搬出が完了した日

10 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

13 建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9(1)～(5)に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

- (1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
- (2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
- (3) スtockヤード運営事業者登録規定により国に登録されたStockヤード
- (4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

13. 猛暑時間の施工回避

- 1 本工事は、現場環境に応じて猛暑時間帯の現場作業を回避し、作業の開始時間や終了時間を発注者と協議し設定できる工事である。

- 2 実施方法は次のとおりとする。

(1) 内容

ア 受注者は、現場環境に応じて猛暑時間帯の現場作業を回避し、作業の開始時間や終了時間を監督職員と協議し設定できる。

イ 作業時間を短縮した場合は、短縮時間に応じて、工期を延長することができるものとする。

ウ 工事における現地の立会等については、監督職員の勤務時間に合わせるものとする。

エ 対象期間は、6月1日から9月30日までとする。

(2) 工期延長日数の算出方法

工期の延長日数^{※1}(日)＝短縮時間(時間)×対象期間^{※2}(日)÷8(時間)

なお、猛暑日等による作業不能日とは、別に考慮できるものとする。

※1 小数第1位を切り上げるものとする。

※2 現場閉所日を含む。

3 作業時間の変更に伴う工事費の増額については、設計変更の対象としない。

14. 猛暑日等を考慮した工期延長について

1 本工事は、工期に「猛暑日等による作業不能日」として、休日(土日、祝日、年末年始休暇及び夏期休暇)、降雨降雪日及び猛暑日日数を42日見込んでいる。

「猛暑日等による作業不能日」＝施工に必要な実日数×雨休率

雨休率(休日、降雨降雪日及び猛暑日日数による作業不能日を見込むための係数)： 0.78

雨休率に見込んでいる作業不能日は、次のとおりである。(過去5年間の気象庁及び環境省のデータより年間の平均発生日数を算出)

(1) 1日の降雨・降雪量が10mm/日以上の日： 31日/年

(2) 8時から17時までのWBGT値が31以上の時間を足し合わせた日数： 5日/年

2 ・著しい悪天候や気象状況より「猛暑日等による作業不能日」が当初見込んでいる日数と著しく乖離し、かつ作業を休止せざるを得なかった場合には、受注者は監督職員へ工期の延長変更を協議することができる。

・受注者は、協議の際に気象庁及び環境省の計測データ等を監督職員へ提出すること。計測データは、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所及び環境省が公表している観測地点を用いることを標準とする。

なお、提出する必要のある様式「猛暑日等による作業不能日算出表」は「広島県の調達情報HP>公共工事等の情報_様式集>建設工事関係_その他契約関係様式」に掲載している。

・費用は、工期延長日数に応じて「工事における工期の延長等に伴う増加費用の積算」(土木工事標準積算基準書(共通編)第I編総則 第9章)に基づき増加費用を積算し、変更契約において計上する。

15. 熱中症による健康障害発生時の対応計画

1 猛暑による厳しい環境下での現場作業^{*}が見込まれる工事を対象とする。

※WBGT28度以上又は気温31度以上の環境下で、連続1時間以上又は1日4時間を超える作業

2 受注者は、熱中症のおそれがある労働者を把握した場合に、迅速かつ的確な判断ができるよう、「緊急連絡網、緊急搬送先の連絡先や所在地」及び「作業離脱、身体冷却、医療機関への搬送等の熱中症による重篤化を防止するために必要な措置の実施手順」などを施工計画書の「緊急時の体制及び対応」項目に記載するとともに、工事関係者へ周知すること。

第2章 工事材料

1. 見本・品質証明資料

受注者は、次に示す材料又は監督職員が指示する材料について、見本又は品質を証明する資料を、材料を使用するまでに監督職員に提出するものとする。また、材料の購入は監督職員の確認を受けた後に行うものとする。

区 分	材 料 名	摘 要
プレキャスト製品	セメントコンクリート製品一般	J I S製品以外
その他	レディーミクストコンクリート	
	アスファルト混合物	事前審査制度の認定混合物を除く

2. 品質規格証明資料等

受注者は、工事に使用した次に示す材料又は監督職員が指示する材料の品質を証明する試験成績表、性能試験結果、ミルシート等の品質規格証明書を監督職員に提出するものとする。

区 分	材 料 名	摘 要
プレキャスト製品	セメントコンクリート製品一般	J I S製品以外
その他	レディーミクストコンクリート	
	アスファルト混合物	事前審査制度の認定混合物を除く

3. 溶融スラグを利用した資材の使用

1. 溶融スラグを利用した資材の使用

再生加熱アスファルト混合物、プレキャストコンクリート製品、再生路盤材及び埋戻材等については、広島中央環境衛生組合が製造する溶融スラグ（以下「溶融スラグ」という。）を利用した資材を使用するよう努めるものとする。溶融スラグ利用及び使用する資材にあたっては「溶融スラグの有効利用促進等に関する方針」「溶融スラグ有効利用ガイドライン【品質編】、【運用編】」に準拠するものとする。なお、これにより難しい場合は、監督職員と協議すること。

2. 品質管理及び確認

1. で示したもののほか、溶融スラグを利用した資材の使用における品質の管理及び確認は、広島版「土木工事共通仕様書(令和7年8月)」及び広島版「施工管理基準(令和7年8月)」によるものとする。ただし、書類により品質が確保できる項目においても、監督職員が必要と認めるものは現場検収を実施できるものとする。

3. 再生加熱アスファルト混合物への使用

溶融スラグを再生加熱アスファルト混合物に使用する場合、広島版「土木工事共通仕様書(令和7年8月)」の「1-1-2-16 環境対策」に示す登録リサイクル製品の使用は適用しないものとする。

4. 適合規格

溶融スラグの適合規格については、広島版「土木工事共通仕様書(令和7年8月)」に記載の適合規格（「2-2-3-1 一般事項 1.」）ではなく、「JIS A 5031 一般廃棄物、下水汚泥又はそれらの焼却灰を溶融固化したコンクリート用溶融スラグ骨材」を適用するものとする。

第3章 施工条件

1. 安全対策

(1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員

交通誘導警備員 ・ 交通誘導警備員の配置人数は、工事着手後、規制を要する日から21日間（2人／日）を見込んでいる。ただし、現場条件の変更等により、交通誘導警備員の人数変更が必要となった場合には、事前に監督職員と協議を行った上で変更対象とする。

(2) 架空線の防護管に要する費用について

工事区域上空の架空線の防護管に要する費用については、現在見込んでいない。

架空線に近接した工事の施工に当たって、架空線管理者又は防護管施工会社（以下、「架空線管理者等」という）との協議により、架空線管理者等から防護管に要する費用負担を求められた場合、工事打合せ簿により監督職員と協議し、設計変更の対象とする。

設計変更の対象として認められる場合は、架空線管理者等からの見積書を提出すること。

2. 建設副産物

(1) 建設発生土(搬出)（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

ただし、災害復旧工事において、市が公募により決定した「災害発生土民間受入先」と受入について土質や搬出スケジュール等の協議が整えば、搬出先を「災害発生土民間受入先」に変更する場合がある。

当該工事で見込んでいる再資源化施設、運搬距離

（名称）	株式会社大地リサイクルセンター第3処分場
（所在地）	東広島市河内町戸野字荏田5861
（運搬距離）	12.9 km

(2) コンクリート殻（無筋）（搬出）

当該工事により発生するコンクリート殻（無筋）は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用（単価）は変更しない。

また、運搬距離は 15.4 k m を見込んでいる。

(3) アスファルト殻(搬出)

当該工事により発生するアスファルト殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は 15.4 k m を見込んでいる。

第4章 その他

1. 工事関係書類

(1) 工事関係書類の作成は、東広島市建設工事関係書類作成要領 -土木工事編-によるものとする。

(2) 工事関係書類の提出は、「契約関係書類」1部、「施工管理書類」は、工事打合せ簿による場合は2部、その他による場合は1部とする。

2. 工事写真

工事写真の撮影に当っては、広島県制定「写真管理基準（令和7年8月）」によるものとし、納品に当っては、電子媒体又は紙媒体、情報共有システム登録のいずれかとする。

なお、電子納品物は「広島県電子納品実施要領」に準拠し、作成すること。

3. 疑義の解決等

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員と協議し決定すること。

4. 水道施設に関すること

(1) 給水管の移設は広島県水道広域連合企業団で指定している給水装置工事事業者により移設すること。

(2) 施工予定の1カ月前までに監督職員に施工図を提出し承認後に施工すること。工事完了後は、竣工図及び工事写真を提出すること。

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
道路改良		式		1	レベル1
排水構造物工		式		1	レベル2
作業土工		式		1	レベル3
床掘り	礫質土	式		1	レベル4
埋戻し	礫質土	式		1	レベル4
埋戻しコンクリート		式		1	レベル4
土砂等運搬	礫質土	m3		10	レベル4
残土等処分		m3		10	レベル4
側溝工		式		1	レベル3
プレキャストU型側溝	300 鉄筋コンクリートL形(500×155×600)	m		7	レベル4
自由勾配側溝設置	300×300～500	m		116	レベル4
蓋設置	コンクリート 低騒音型	枚		67	レベル4
グレーチング蓋	300用 L=1000	枚		20	レベル4
自由勾配側溝	300×300 L=2000	本		21	レベル4
自由勾配側溝	300×300 1300/1348	本		1	レベル4
自由勾配側溝	300×300 494/518	本		1	レベル4
自由勾配側溝	300×300 548/500	本		1	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0002

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
自由勾配側溝	300×300 1009/1048	本		1	レベル4
自由勾配側溝	300×400 L=2000	本		24	レベル4
自由勾配側溝	300×400 1200/1228	本		1	レベル4
自由勾配側溝	300×400 1740/1712	本		1	レベル4
自由勾配側溝	300×500 L=2000	本		8	レベル4
自由勾配側溝	300×500 1185/1225	本		1	レベル4
自由勾配側溝	300×500 1246/1218	本		1	レベル4
自由勾配側溝	300×500 1335/1363	本		1	レベル4
1号樹	現場打 900×900×1400 グレーチング蓋T-14 足掛金物	箇所		1	レベル4
4号樹	現場打 300×300×500 L型側溝 グレーチング付(細目)	箇所		1	レベル4
水抜き穴	φ50	箇所		45	レベル4
ドレーン管接続		箇所		1	レベル4
構造物撤去工		式		1	レベル2
構造物取壊し工		式		1	レベル3
コンクリート構造物取壊し	機械施工	m3		14	レベル4
舗装版切断	アスファルト舗装版	式		1	レベル4
舗装版破碎	アスファル舗装版	m2		73	レベル4
殻運搬	コン塊(無筋)	m3		14	レベル4

工事数量総括表

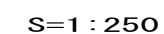
頁0 -0003

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
殻運搬	アス塊	m3		3	レベル4
殻処分	コン塊（無筋）	t		32	レベル4
殻処分	アス塊	t		7	レベル4
舗装工		式		1	レベル2
舗装工		式		1	レベル3
表層工		m2		38	レベル4
路盤工		m2		38	レベル4
区画線工		式		1	レベル2
区画線工		式		1	レベル3
区画線設置(溶融式)	外側線 15cm	m		200	レベル4
仮設工		式		1	レベル2
交通管理工		式		1	レベル3
交通誘導警備員		人		42	レベル4
水道管移設工		式		1	レベル1
給水管布設替工		式		1	レベル2
給水管布設替工	材料	式		1	レベル3
水道ホリリフ二層管	PEφ25	m		24	レベル4
水道用ホリリフ管金属継手	PEILホリφ25	個		40	レベル4

工事数量総括表

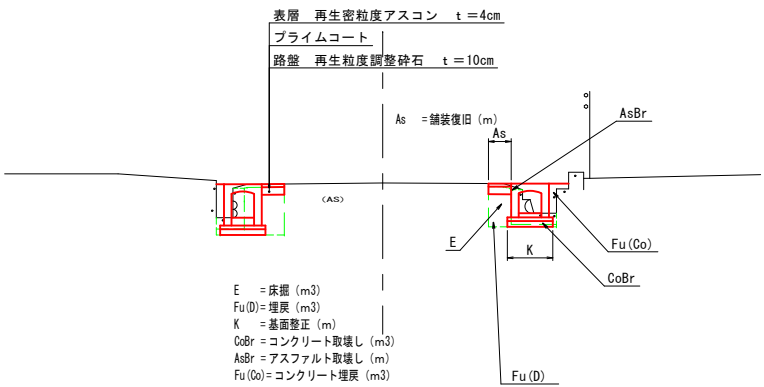
頁0 -0004

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
給水管布設替工		式		1	レベル3
ポリエチレン管据付工	φ 25	m		24	レベル4
ポリエチレン管継手工	φ 25	□		40	レベル4
管埋設シート工【材工共】	巾15cm 2倍折込式	m		24	レベル4
ポリエチレン管切断工	φ 25	□		40	レベル4
* * 直接工事費 * *					
共通仮設費率分					
* * 共通仮設費計 * *					
* * 純工事費 * *					
現場管理費					
* * 工事原価 * *					
一般管理費率分					
契約保証費					
一般管理費計					
* * 工事価格 * *					
* * 消費税相当額 * *					
* * 工事費計 * *					
* * 契約保証費計 * *					



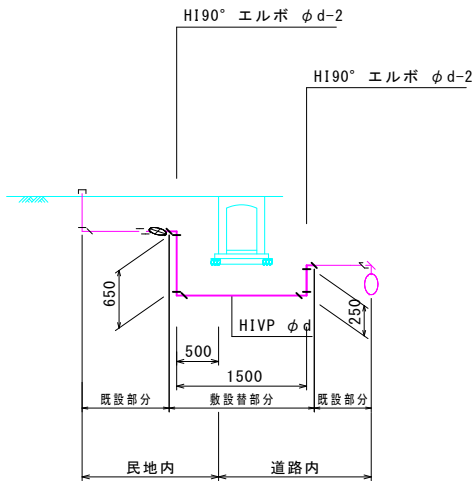
標準横断面図

S=1/50



給水管敷設替

S=1/50

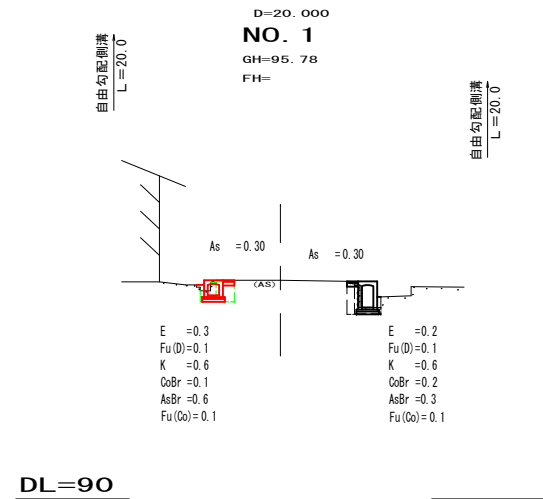
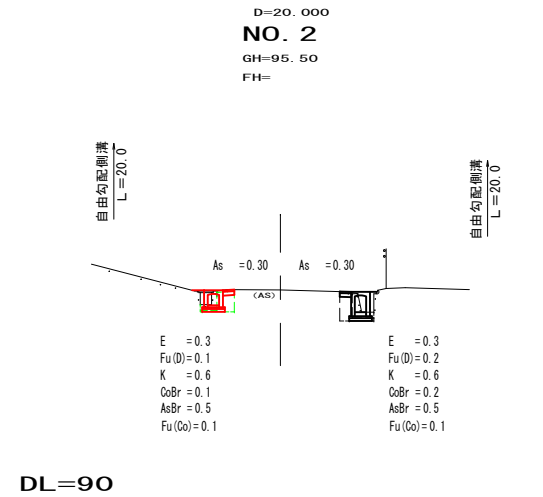
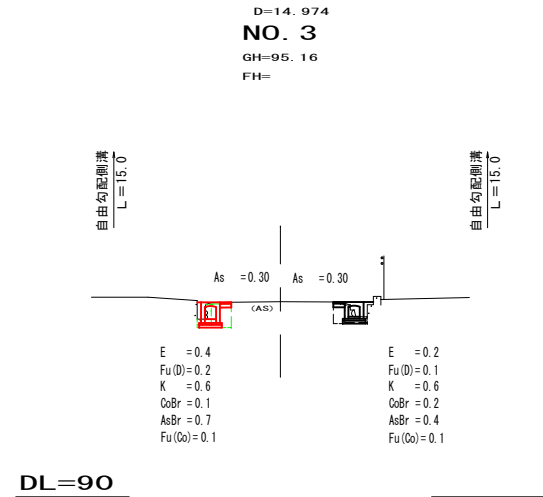
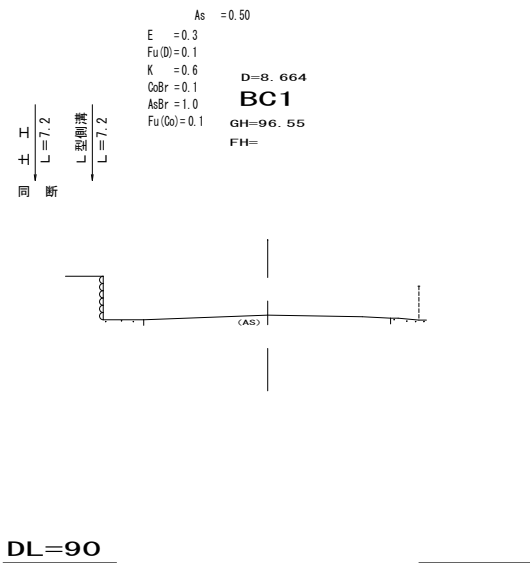
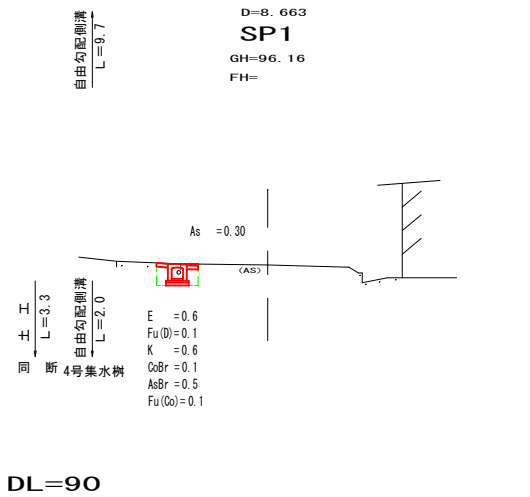
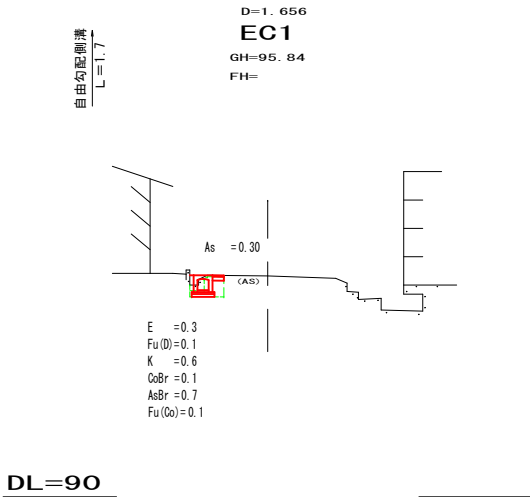


数量表

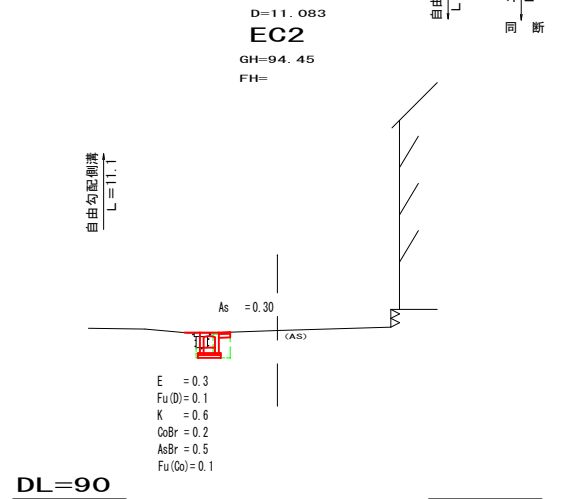
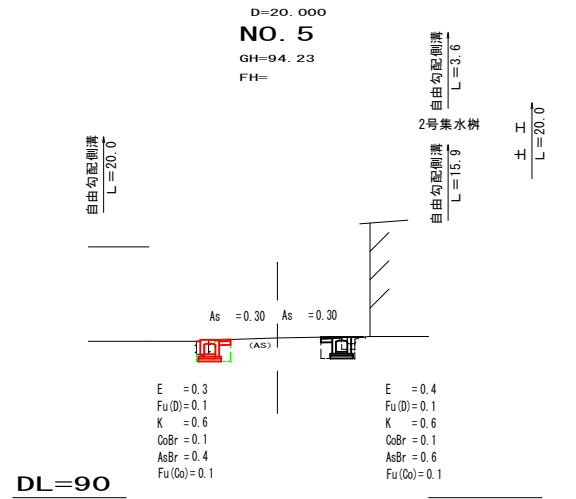
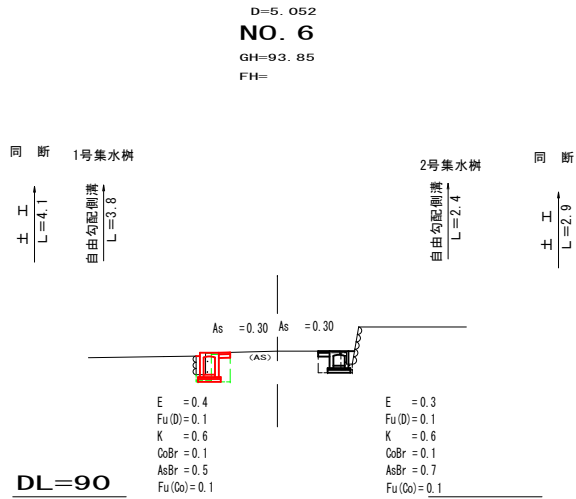
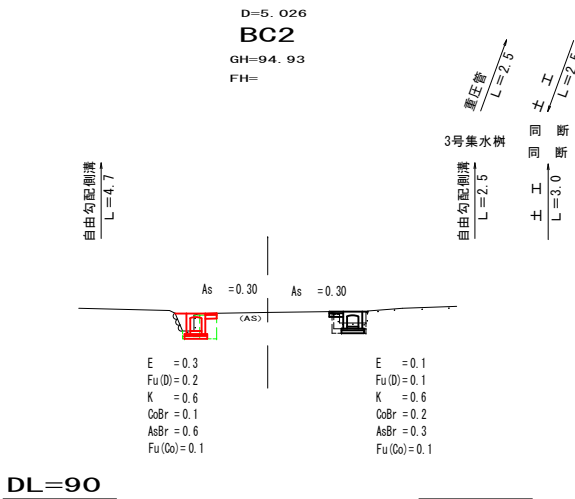
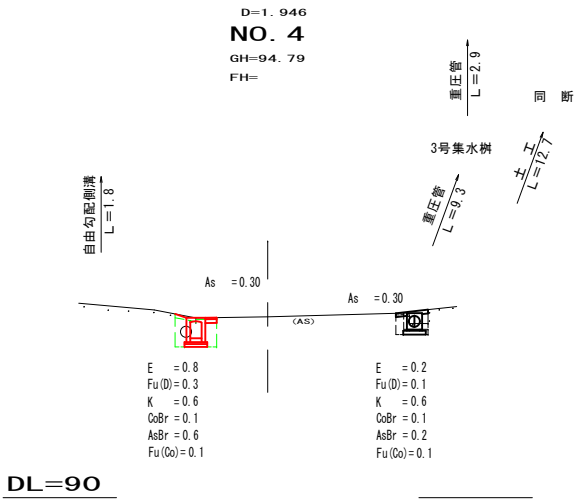
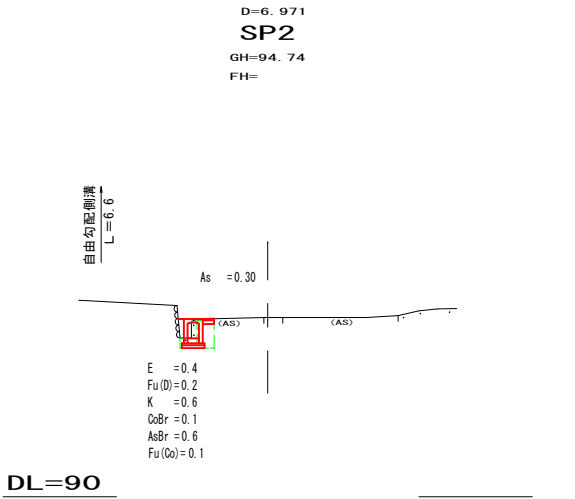
1箇所当り

名称	単位	数量
H1VP φ d	m	2.400
H190° エルボ φ d	個	4.000

図面番号	2 / 10	縮 尺	図 示
工 種	道路橋梁維持管理事業		
種 別	標 準 断 面 図	番 号	1 / 1
路 線 名	元 町 古 宮 線 線		
工事箇所	東 広 島 市 河 内 町 下 河 内		
東 広 島 市			

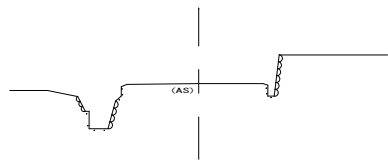


図面番号	3 / 10	縮 尺	S=1 : 100	
工 種	道路橋梁維持管理事業			
種 別	横 断 面 図		番 号	1 / 3
路 線 名	元町古宮線			
工事箇所	東広島市河内町下河内			
東 広 島 市				



図面番号	4 / 10	縮 尺	S=1 : 100
工 種	道路橋梁維持管理事業		
種 別	横 断 面 図	番 号	2 / 3
路 線 名	元 町 古 宮 線 線		
工事箇所	東 広 島 市 河 内 町 下 河 内		
東 広 島 市			

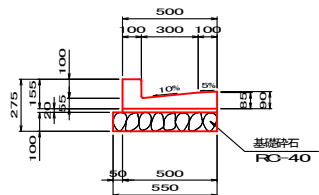
EP
GH=93.76
FH=



DL=90

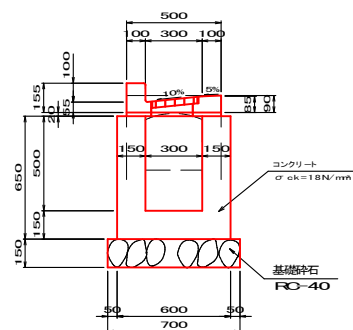
図面番号	5 / 10	縮 尺	S=1 : 100	
工 種	道路橋梁維持管理事業			
種 別	横 断 面 図		番 号	3 / 3
路 線 名	元 町 古 宮 線			
工事箇所	東 広 島 市 河 内 町 下 河 内			
東 広 島 市				

L型側溝
(FL2-E300-H100)
S=1: 20



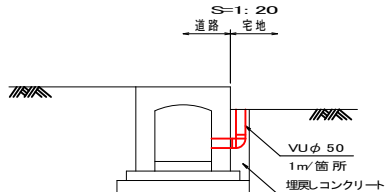
10m当り		
名 称	規 格	数 量
基礎碎石	RC-40	5.500 m ³
側 溝		16.5 個
敷モルタル	1: 3	0.100 m ³
目地モルタル	1: 3	0.004 m ³

4号集水樹
S=1: 20

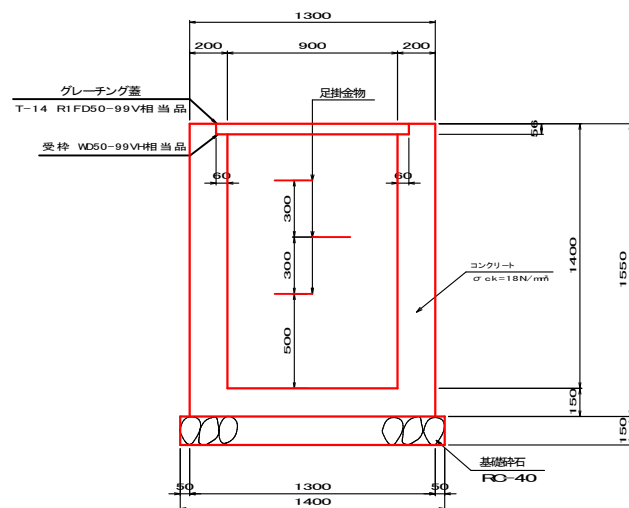
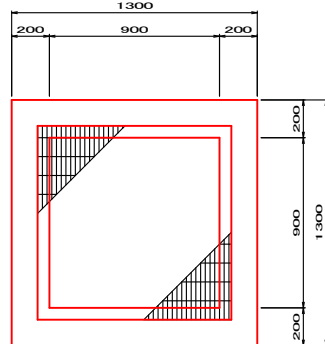


1ヶ所当り		
名 称	規 格	数 量
コンクリート	18N/mm ²	0.189 m ³
型 枠		2.34 m ²
基礎碎石	RC-40	0.490 m ³
敷モルタル	1: 3	0.004 m ³
集 水 樹	L型側溝グレーチング付	1.0 個

水抜き穴

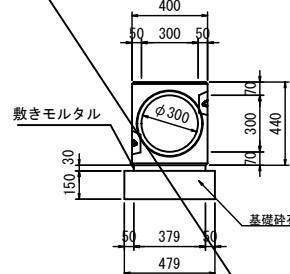


1号集水樹
S=1: 20



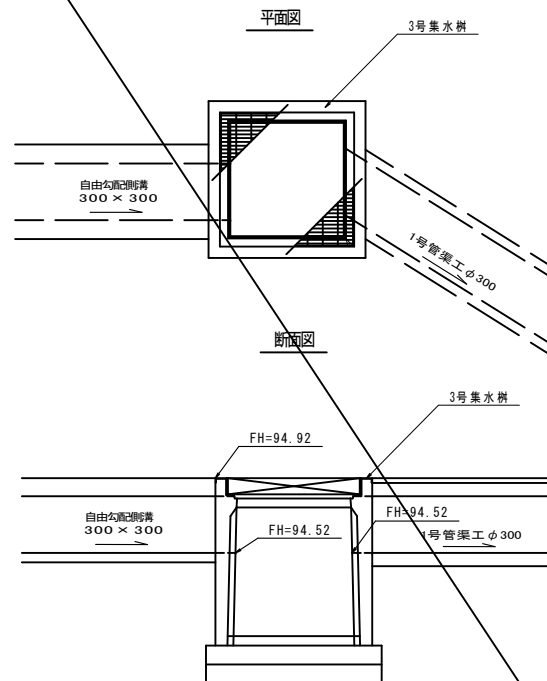
1ヶ所当り		
名 称	規 格	数 量
コンクリート	18N/mm ²	1.509 m ³
型 枠		13.64 m ²
基礎碎石	RC-40	1.960 m ³
グレーチング蓋	T-14 R1FD50-99V相当品	1.0 枚
受 枠	VD50-99VH相当品	1.0 個
足掛金物		3.0 丁

重圧管
S=1: 20

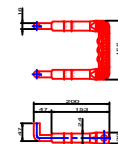


10m当り		
名 称	規 格	数 量
基礎碎石	RC-40	4.790 m ³
敷モルタル	1: 3	0.114 m ³
重圧管	管渠定規溝DR2相当品 φ300	5.0 本

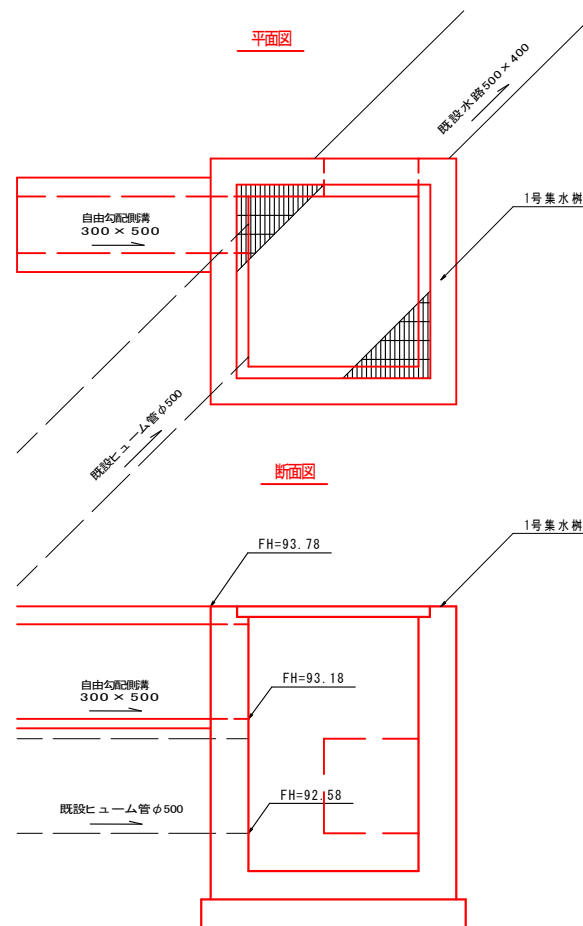
NO. 3+17.8(右)
S=1: 20



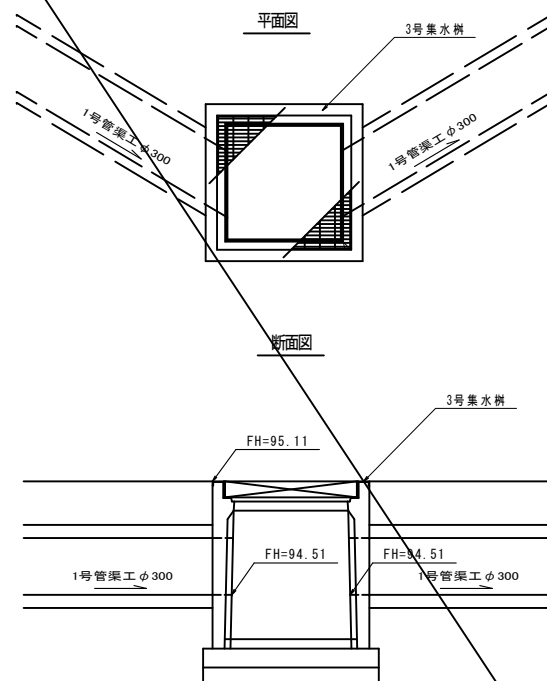
足掛金物
S=1: 10



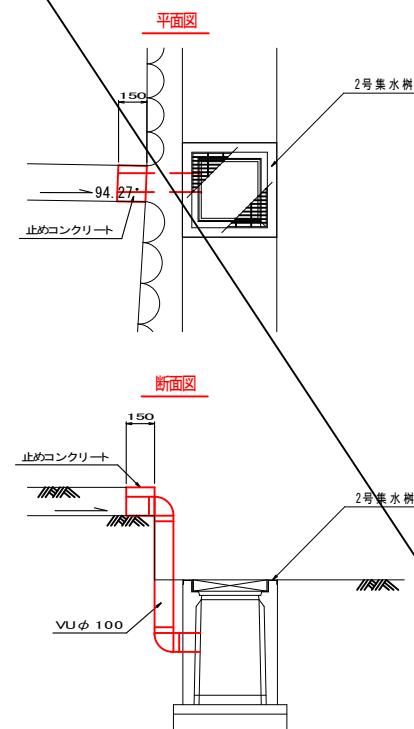
NO. 6+4.4(左)
S=1: 20



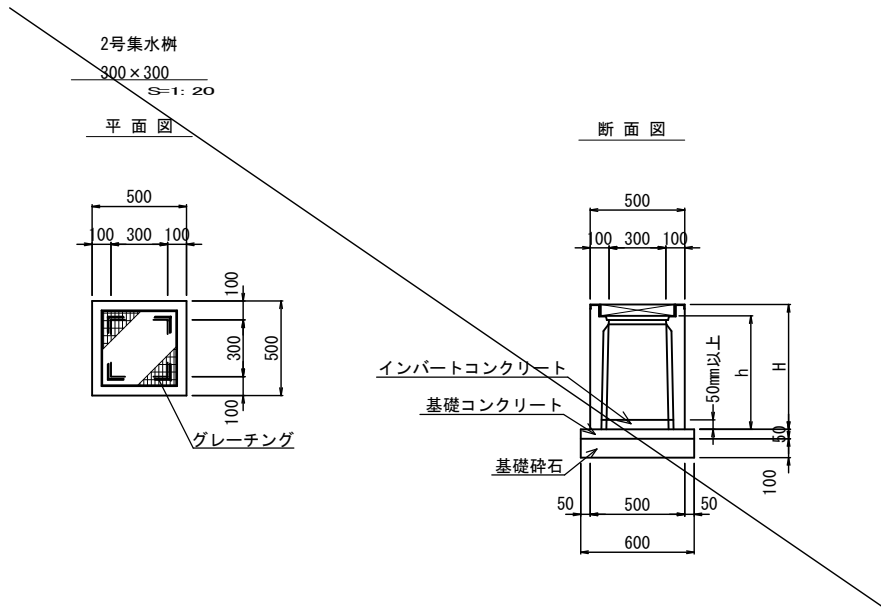
NO. 4+6.2(右)
S=1: 20



NO. 5+16.2(右)
S=1: 20



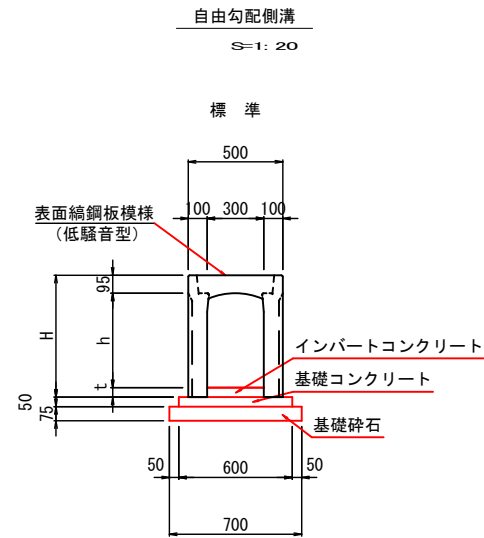
図面番号	6 / 10	縮 尺	図 示
工 種	道路橋梁維持管理事業		
種 別	構 造 図	番 号	1 / 2
路 線 名	元町古宮線		
工事箇所	東広島市河内町下河内		
東 広 島 市			



基礎材数量表(2号集水樹)

名称	規格	単位	数量
基礎コンクリート	$\sigma_{ck} = 18 \text{ N/mm}^2$	m ³	0.018
同上型枠		m ²	0.120
基礎砕石	RC - 40	m ²	0.360
インバートコンクリート	$\sigma_{ck} = 18 \text{ N/mm}^2$	m ³	0.007

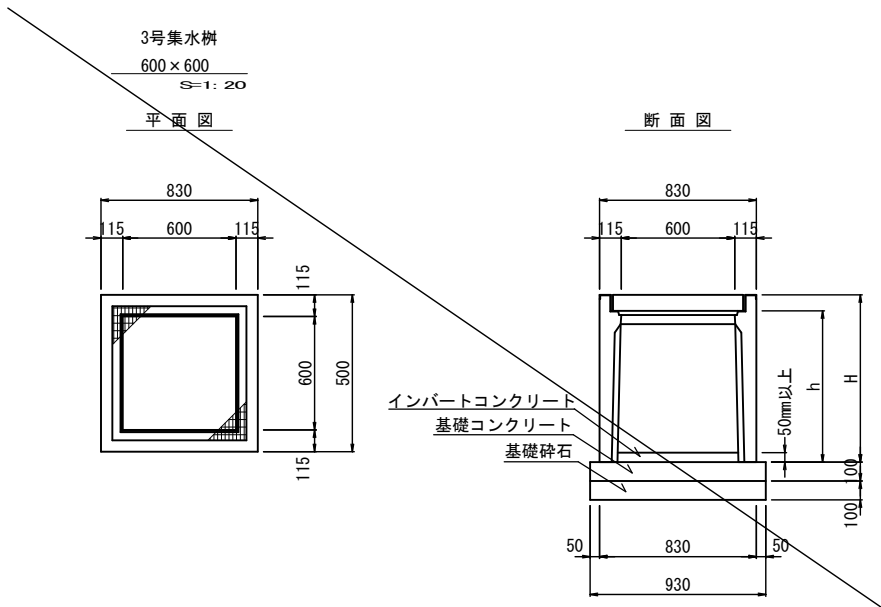
1箇所当り



基礎材数量表

名称	規格	単位	数量
基礎コンクリート	$\sigma_{ck} = 18 \text{ N/mm}^2$	m ³	0.300
同上型枠		m ²	1.000
基礎砕石	RC - 40	m ²	7.000
インバートコンクリート	$\sigma_{ck} = 18 \text{ N/mm}^2$	m ³	0.150

10m当り



基礎材数量表(3号集水樹)

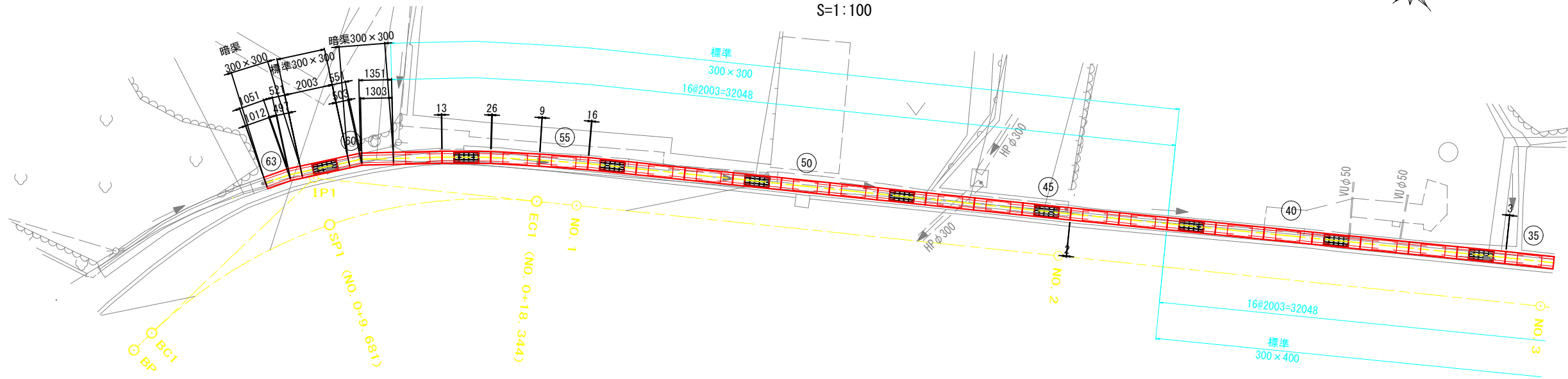
名称	規格	単位	数量
基礎コンクリート	$\sigma_{ck} = 18 \text{ N/mm}^2$	m ³	0.086
同上型枠		m ²	0.372
基礎砕石	RC - 40	m ²	0.865
インバートコンクリート	$\sigma_{ck} = 18 \text{ N/mm}^2$	m ³	0.025

1箇所当り

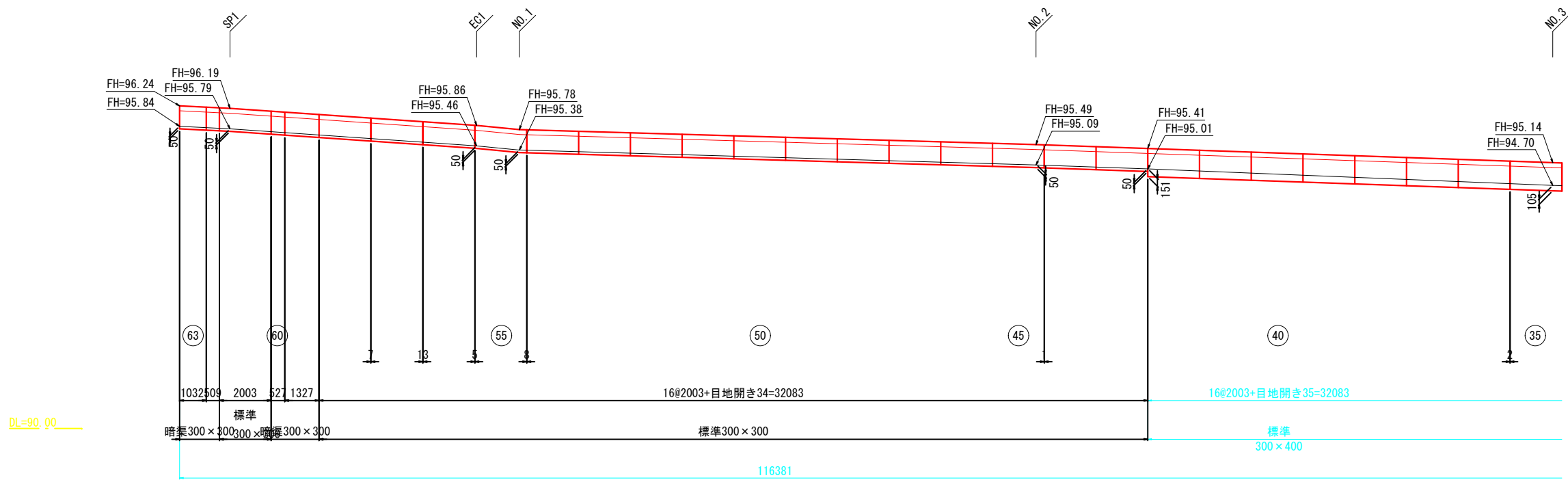
図面番号	7/10	縮 尺	図 示
工 種	道路橋梁維持管理事業		
種 別	構 造 図	番 号	2/2
路 線 名	元町古宮線		
工事箇所	東広島市河内町下河内		
東 広 島 市			

自由勾配側溝参考割付図
(左側側溝 BC1~NO. 6+5.07)

平面図
S=1:100



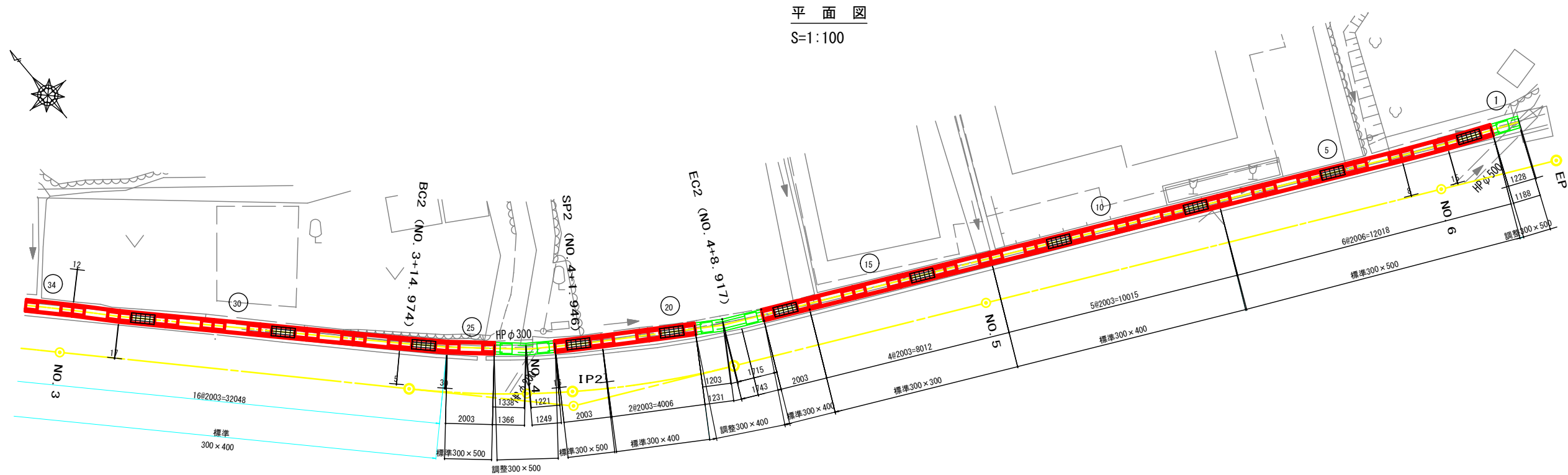
縦断図
V=1:50
H=1:100



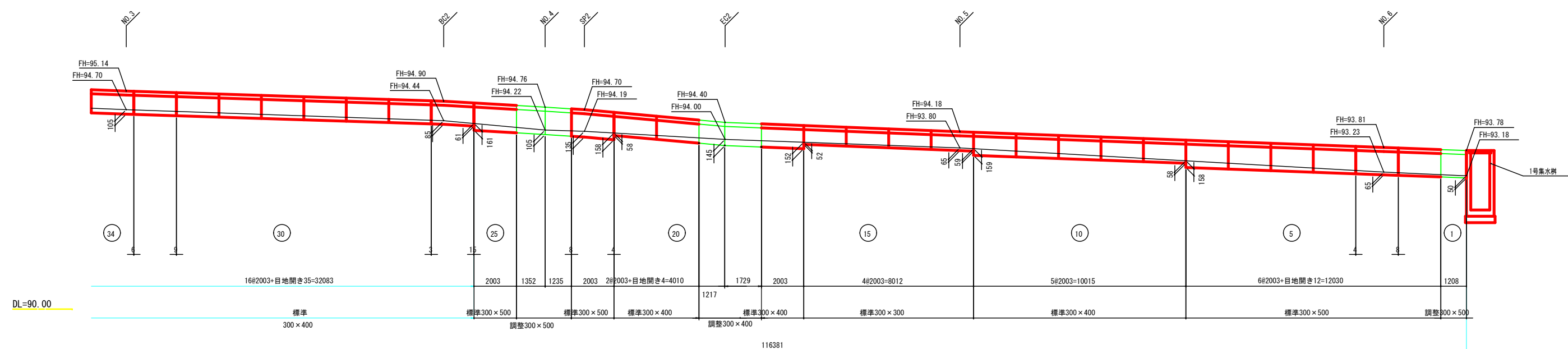
図面番号	8 / 10	縮 尺	図 示
工 種	道路橋梁維持管理事業		
種 別	側溝詳細図	番 号	1 / 3
路 線 名	元町古宮線		
工事箇所	東広島市河内町下河内		
東 広 島 市			

自由勾配側溝参考割付図
(左側側溝 BC1~NO. 6+5.07)

平面図
S=1:100



縦断図
V=1:50
H=1:100



図面番号	9 / 10	縮 尺	図 示
工 種	道路橋梁維持管理事業		
種 別	側溝詳細図	番 号	2 / 3
路 線 名	元町古宮線		
工事箇所	東広島市河内町下河内		
東 広 島 市			

自由勾配側溝参考割付図

(左側側溝 BC1～N0. 6+5. 07)

自由勾配側溝数量表

規 a × 格 h	H	L	形 状	製 品 番 号	数 量	備 考
300 × 300	445	2000	標 準 型	13-16, 42-57, 60	21	
		LM=1300/1348	暗 渠 型	58	1	斜 切
		LM= 548/ 500	暗 渠 型	59	1	斜 切
		LM= 494/ 518	暗 渠 型	61	1	斜 切
		LM=1009/1048	暗 渠 型	62	1	斜 切
300 × 400	545	2000	標 準 型	8-12, 17, 20, 21, 26-41	24	
		LM=1740/1712	調 整 型	18	1	斜 切
		LM=1200/1228	調 整 型	19	1	斜 切
300 × 500	645	2000	標 準 型	2-7, 22, 25	8	
		LM=1185/1225	調 整 型	1	1	斜 切
		LM=1246/1218	調 整 型	23	1	斜 切
		LM=1335/1363	調 整 型	24	1	斜 切
合 計					62	
コンクリート蓋 (B=300 車道用) L= 500				低騒音型	67	
グレーチング (B=300 T-14用) L=1000					20	

※ LM・・・平面斜切
※ 斜切の寸法は直面から見て (左側/右側) とする。

基 礎 材 数 量 表

名 称	規 格	単 位	数 量
基礎コンクリート	$\sigma_{ck} = 18 \text{ N/mm}^2$	m ³	3. 491
同 上 型 枠		m ²	11. 638
基 礎 砕 石	RC - 40	m ²	81. 467
インパートコンクリート	$\sigma_{ck} = 18 \text{ N/mm}^2$	m ³	3. 056

(右側側溝 N0. 1～BC2+3. 40)

自由勾配側溝数量表

規 a × 格 h	H	L	形 状	製 品 番 号	数 量	備 考
300 × 300	445	2000	標 準 型	2-9	8	
300 × 400	545	2000	標 準 型	10-16	7	
300 × 500	645	2000	標 準 型	17-23	7	
300 × 600	745	2000	標 準 型	24-29	6	
		1402	暗 渠 型	30	1	短 切
合 計					29	
コンクリート蓋 (B=300 車道用) L= 500				騒音減少蓋 (DS蓋)	38	
グレーチング (B=300 T-14用) L=1000					9	

基 礎 材 数 量 表

名 称	規 格	単 位	数 量
基礎コンクリート	$\sigma_{ck} = 18 \text{ N/mm}^2$	m ³	1. 726
同 上 型 枠		m ²	5. 752
基 礎 砕 石	RC - 40	m ²	40. 262
インパートコンクリート	$\sigma_{ck} = 18 \text{ N/mm}^2$	m ³	1. 579

3号集水樹数量表 (プレキャストマス)

規 格 a × b × h	製 品 番 号	数 量
600 × 600 × 800	1	1
合 計		1

(右側側溝 N0. 4～N0. 6+2. 9)

自由勾配側溝数量表

規 a × 格 h	H	L	形 状	製 品 番 号	数 量	備 考
300 × 300	445	2000	標 準 型	6, 9-16	9	
		1000	標 準 型	3	1	短 尺
		LM= 677/ 635	暗 渠 型	2	1	斜 切
		LM= 677/ 694	暗 渠 型	4	1	斜 切
		LM=1604/1621	調 整 型	5	1	斜 切
		1500	調 整 型	8	1	短 切
合 計					14	
コンクリート蓋 (B=300 車道用) L= 500				低騒音型	13	
グレーチング (B=300 T-14用) L=1000					4	

※ LM・・・平面斜切
※ 斜切の寸法は直面から見て (左側/右側) とする。

基 礎 材 数 量 表

名 称	規 格	単 位	数 量
基礎コンクリート	$\sigma_{ck} = 18 \text{ N/mm}^2$	m ³	0. 705
同 上 型 枠		m ²	2. 350
基 礎 砕 石	RC - 40	m ²	16. 449
インパートコンクリート	$\sigma_{ck} = 18 \text{ N/mm}^2$	m ³	0. 352

2号集水樹数量表 (プレキャストマス)

規 格 a × b × h	製 品 番 号	数 量
300 × 300 × 600	1, 7	2
合 計		2

図面番号	10 / 10	縮 尺	図 示
工 種	道路橋梁維持管理事業		
種 別	側 溝 詳 細 図	番 号	3 / 3
路 線 名	元町古宮線		
工事箇所	東広島市河内町下河内		
東 広 島 市			

参 考 図 書

工事名称 ： 令和 8 年度 道路維持修繕事業
元町古宮線道路修繕工事

＜注意事項＞

1 本工事は、数量公開の対象工事です。

2 この数量書は適正な積算のための参考指標として数量を示すものです。

数量は参考数量であり、設計図書ではありません。内容の如何にかかわらず、契約上の拘束を
するものではありません。

3 その他

・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、広島県制定の建設発生土処分先
一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地
（一時たい積）のいずれかに搬出するものとしている。搬出先として、次の施設を見込んでいる。
建設発生土

種別	施設の名称	所在地	運搬距離
礫質土	(株)大地リサイクルセンター 第 3 処分場	東広島市河内町戸野字荏田 5861	12. 9km

・当該工事により発生する Co 殻は、広島県制定の再生資源化施設一覧表に掲載されている施設に
搬出するものとしている。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

Co 殻（無筋）

種別	施設の名称	所在地	運搬距離
Co 殻	(株)中博リサイクルプラント	三原市高坂町真良 2852	15. 4km

As 殻

種別	施設の名称	所在地	運搬距離
As 殻	(株)中博リサイクルプラント	三原市高坂町真良 2852	15. 4km

総括情報表

頁0 -0001

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 49 東広島市(河内) 00-08.07.01(0)		凡例 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種	04 道路改良工事		
施工地域・工事場所区分	04 一般交通影響有り(2)		
復興補正区分	00 補正なし		
週休補正区分	09 閉所型・月単位		
現場事務所等の貸与区分	00 補正なし		
I C T補正区分	00 補正なし		
冬期補正係数	00 補正なし		
緊急工事区分	00 通常工事 0 %		
前払金支出割合区分	00 補正無し		
契約保証区分	01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
道路改良					Y1E01 レベル1
排水構造物工	1	式			Y1E0109 レベル2
作業土工	1	式			Y1E010901 レベル3
床掘り 礫質土	1	式			Y1E01090102 レベル4
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	50	m3			SPK25040015 00
埋戻し 礫質土	50	m3			単第0 -0001 表 Y1E01090103 レベル4
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	20	m3			SPK25040020 00
埋戻しコンクリート	20	m3			単第0 -0002 表 Y4999 レベル4
	13	m3			

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	13	m3			SPK25040157 00 単第0 -0003 表
土砂等運搬 礫質土	10	m3			Y1E01090111レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間無し 距離13.0km以下(10.0km超)	10	m3			SPK25040002 00 単第0 -0004 表
残土等処分	10	m3			Y4999 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
建設発生土受入費 砂・砂質土・礫質土 (株)大地リサイクルセンター第3処分場	10	m3			F000000100 00
側溝工	1	式			Y1E010903 レベル3
プレキャストU型側溝 300 鉄筋コンクリートL形(500×155×600)	7	m			Y1E01090301レベル4
プレキャストL形側溝 据付 基礎碎石有り 300 鉄筋コンクリートL形(500×155×600)	7	m			SPK25040099 00 単第0 -0005 表

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
自由勾配側溝設置 300×300～500	116	m			Y1E01090304 レベル4
自由勾配側溝 材料別途 1000 重量	116	m			SDT00015 00 単第0 -0006 表
蓋設置 コンクリート 低騒音型	67	枚			Y4999 レベル4
蓋版 自由勾配側溝ふた 300[400×95×500]	67	枚			SDT00017 00 単第0 -0007 表
グレーチング蓋 300用 L=1000	20	枚			Y4999 レベル4
グレーチング蓋 L=1000	20	枚			V000000500 00 単第0 -0008 表
自由勾配側溝 300×300 L=2000	21	本			Y4999 レベル4
自由勾配側溝_ふた2枚掛製品_側溝本体 300*300*2000 参考質量322kg	21	本			T2160045 00
自由勾配側溝 300×300 1300/1348	1	本			Y4999 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
自由勾配側溝 300×300 1300/1348 暗渠 斜切	1	本			F000001400 00
自由勾配側溝 300×300 494/518	1	本			Y4999 レベル4
自由勾配側溝 300×300 494×518 暗渠 斜切	1	本			F000001200 00
自由勾配側溝 300×300 548/500	1	本			Y4999 レベル4
自由勾配側溝 300×300 548×500 暗渠 斜切	1	本			F000001100 00
自由勾配側溝 300×300 1009/1048	1	本			Y4999 レベル4
自由勾配側溝 300×300 1009×1048 暗渠 斜切	1	本			F000001300 00
自由勾配側溝 300×400 L=2000	24	本			Y4999 レベル4
自由勾配側溝_ふた2枚掛製品_側溝本体 300*400*2000 参考質量399kg	24	本			T2160047 00

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
自由勾配側溝 300×400 1200/1228	1	本			Y4999 レベル4
自由勾配側溝 300×400 1200/1228 暗渠 斜切	1	本			F000001700 00
自由勾配側溝 300×400 1740/1712	1	本			Y4999 レベル4
自由勾配側溝 300×400 1740×1712 調整 斜切	1	本			F000002600 00
自由勾配側溝 300×500 L=2000	8	本			Y4999 レベル4
自由勾配側溝_ふた2枚掛製品_側溝本体 300*500*2000 参考質量450kg	8	本			T2160049 00
自由勾配側溝 300×500 1185/1225	1	本			Y4999 レベル4
自由勾配側溝 300×500 1185/1225 暗渠 斜切	1	本			F000001800 00
自由勾配側溝 300×500 1246/1218	1	本			Y4999 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
自由勾配側溝 300×500 1246/1218 暗渠 斜切	1	本			F000001900 00
自由勾配側溝 300×500 1335/1363	1	本			Y4999 レベル4
自由勾配側溝 300×500 1335/1363 暗渠 斜切	1	本			F000002000 00
1号樹 現場打 900×900×1400 グレーチング蓋T-14 足掛金物	1	箇所			Y4999 レベル4
1号集水樹	1	箇所			V000000100 00 単第0 -0010 表
4号樹 現場打 300×300×500 L型側溝 グレーチング付（細目）	1	箇所			Y4999 レベル4
4号集水樹	1	箇所			V000000200 00 単第0 -0013 表
水抜き穴 φ50	45	箇所			Y4999 レベル4
水抜き穴	45	箇所			V000000300 00 単第0 -0018 表

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ドレーン管接続	1	箇所			Y4999 レベル4
ドレーン管接続管	1	箇所			V000000400 00
構造物撤去工	1	式			単第0 -0020 表 Y1E0112 レベル2
構造物取壊し工	1	式			Y1E011206 レベル3
コンクリート構造物取壊し 機械施工	14	m3			Y1E01120601 レベル4
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工	14	m3			SDT00031 00
舗装版切断 アスファルト舗装版	125	m			単第0 -0021 表 Y1E01120602 レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	125	m			SPK25040307 00
舗装版破碎 アスファル舗装版	73	m2			単第0 -0022 表 Y1E01120603 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版破碎積込(小規模土工)					SPK25040018 00
	73	m2			単第0 -0023 表
殻運搬 コン塊（無筋）					Y4999 レベル4
	14	m3			
殻運搬 吹付法面とりこわし(モルタル) DID区間無し 運搬距離18.0km以下(13.5km超)					SPK25040155 00
	14	m3			単第0 -0024 表
殻運搬 アス塊					Y4999 レベル4
	3	m3			
殻運搬 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離17.0km以下(12.0km超)					SPK25040155 00
	3	m3			単第0 -0025 表
殻処分 コン塊（無筋）					Y4999 レベル4
	32	t			
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
再資源化施設受入費 コン塊（無筋） （株）中博リサイクルプラント					F000000200 00
	32	t			
殻処分 アス塊					Y4999 レベル4
	7	t			

本工事費 内訳表

頁0 -0010

費目・工種・施工名称など 【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる	数量	単位	単価	金額	備考
					#0041
再資源化施設受入費 アス塊 (株)中博リサイクルプラント	7	t			F000000300 00
舗装工	1	式			Y2999 レベル2
舗装工	1	式			Y3999 レベル3
表層工	38	m2			Y4999 レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚40mm	38	m2			SPK25040244 00 単第0 -0026 表
路盤工	38	m2			Y4999 レベル4
上層路盤(車道・路肩部) RM-30 全仕上り厚100mm 1層施工	38	m2			SPK25040237 00 単第0 -0027 表
区画線工	1	式			Y2999 レベル2

本工事費 内訳表

頁0 -0011

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
区画線工					Y3999 レベル3
	1	式			
区画線設置(溶融式) 外側線 15cm					Y4999 レベル4
	200	m			
区画線設置(溶融式) 実線_15cm					SDT00001 00
	200	m			単第0 -0028 表
仮設工					Y1E0115 レベル2
	1	式			
交通管理工					Y1E011521 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員					Y1E01152101 レベル4
	42	人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	42	人			
水道管移設工					Y1999 レベル1
	1	式			
給水管布設替工					Y2999 レベル2
	1	式			

本工事費 内訳表

頁0 -0012

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
給水管布設替工 材料	1	式			Y3999 レベル3
水道用 ^ホ リフレン二層管 PE φ 25	24	m			Y4999 レベル4
特殊工費					#0042
水道用 ^ホ リフレン二層管 PE50 1 種 φ 25	24	m			THSFA002397 00
水道用 ^ホ リフレン管金属継手 PE ^{II} ^ホ φ 25	40	個			Y4999 レベル4
特殊工費					#0042
水道用 ^ホ リフレン管金属継手 ^{II} ^ホ JWWA B 116 φ 25 × 90 °	40	個			THSFA002411 00
給水管布設替工	1	式			Y3999 レベル3
ポリエチレン管据付工 φ 25	24	m			Y4999 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0013

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ポリエチレン管据付工 呼び径 2 5 mm	24	m			SQ105 00 単第0 -0029 表
ポリエチレン管継手工 φ 25	40	□			Y4999 レベル4
ポリエチレン管継手工 呼び径 2 5 mm	40	□			SQ106 00 単第0 -0030 表
管埋設シート工【材工共】 巾15cm 2倍折込式	24	m			Y4999 レベル4
管埋設シート工 巾15cm 2倍折込式【材工共】 地色:青,文字色:白	24	m			VSE500 00 単第0 -0031 表
ポリエチレン管切断工 φ 25	40	□			Y4999 レベル4
ポリエチレン管切断 呼び径 2 5 mm	40	□			SQ110 00 単第0 -0033 表
* * 直接工事費 * * #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019

本工事費 内訳表

頁0 -0014

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 共通仮設費計 * *					
* * 純工事費 * *					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 工事原価 * *					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
* * 工事価格 * *					

本工事費 内訳表

頁0 -0015

[illegible]

施工単価表

頁0 -0016

床掘り
土砂 上記以外(小規模)
機械構成比: 18.73% 労務構成比: 74.16% 材料構成比: 7.11% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1 m3 当り 2,247.40000

SPK25040015 単第0 -0001 表

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックハウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	18.73%		バックハウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
運転手(特殊)	40.26%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	33.90%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	7.11%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

埋戻し
土砂

SPK25040020
上記以外(小規模)

単第0 -0002 表

1
標準単価:

m3 当り
4,063.80000

機械構成比: 8.87%

労務構成比: 87.15%

材料構成比: 3.98%

市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	8.27%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
タンパ及びランマ ランマ 質量60～80kg	0.60%		タンパ及びランマ ランマ 質量60～80kg		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	50.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.35%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	17.77%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.14%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.84%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5 D=1 上記以外(小規模) -(全ての費用)			B=1 土砂		

施工単価表

頁0 -0018

埋戻し

土砂

機械構成比: 8.87%

勞務構成比: 87.15%

上記以外(小規模)

材料構成比: 3.98%

市場単価構成比: 0.00%

单第0 -0002 表

1
標準単価：

m3 当り
4,063.80000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0019

コンクリート

SPK25040157

単第0 -0003 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 28.68% 材料構成比: 71.32% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 30,615.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	12.85%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	7.30%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	6.58%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	71.32%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=2 小型車割増有		

施工単価表

頁0 -0020

土砂等運搬
小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)
機械構成比: 26.52% 労務構成比: 61.90% 材料構成比: 11.58% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040002
DID区間無し 距離13.0km以下(10.0km超)

単第0 -0004 表
1
標準単価: 3,431.70000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	26.52%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	61.90%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.58%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=45 距離13.0km以下(10.0km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

頁0 -0021

プレキャストL形側溝
据付 基礎砕石有り
機械構成比: 8.08% 労務構成比: 58.72% 材料構成比: 33.20% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040099
300 鉄筋コンクリートL形(500×155×600)

単第0 -0005 表
標準単価: 1 m 当り
9,331.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・クレーン機能・排2014 山積0.5/平積0.4m3,吊能力2.9t	6.03%		バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・クレーン機能・排2014 山積0.5/平積0.4m3,吊能力2.9t		MTPC00173 MTPT00173
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	24.53%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.96%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.31%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	3.03%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
鉄筋コンクリートL形(JISA5372)300 500×155×600 参考質量65kg	30.59%		鉄筋コンクリートL形(JISA5372)300 500×155×600 参考質量65kg		TTPC00101 TTPT00101
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.95%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0022

プレキャストL形側溝

SPK25040099

單第0 -0005 表

据付 基礎碎石有り

300 鉄筋コンクリートL形(500×155×600)

1 m 当り

機械構成比: 8.08%

勞務構成比: 58.72%

材料構成比: 33.20%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

9,331.40000

[illegible]

施工単価表

自由勾配側溝
材料別途 1000 重量

SDT00015

単第0 -0006 表

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_自由勾配側溝【手間のみ】 L=2000_1000kg/個以下 時間的制約なし	1.000	m			
再生クラッシャラン 40～0mm	0.063	m3			
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	0.060	m3			
レディーミクストコンクリート 小型車割増	0.060	m3			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 D=1 1000 重量 F=1 -			B=51 材料別途 E=1 時間的制約なし G=2 RC-40		
I=0.525 基礎碎石の設計数量(m3/10m) L=0.563 基礎及び底部Coの設計数量(m3/10m)			J=1 18-8-40BB M=2 小型車割増有り		

施工単価表

頁0 -0024

蓋版

SDT00017

單第0 -0007 表

自由勾配側溝ふた

$$300[400 \times 95 \times 500]$$

枚 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0025

グレーチング蓋
L=1000

V000000500

單第0 -0008 表

1枚当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0026

蓋版
材料別途 40 重量

SDT00017

單第0 -0009 表

1枚当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0027

1号集水枋

V000000100

單第0 -0010 表

1 箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0028

現場打ち集水桝・街渠桝(本体)

SPK25040104

単第0 -0011 表

18-8-40BB

1.44m3を超え1.52m3以下

1

箇所 当り

機械構成比: 0.06%

労務構成比:

83.08%

材料構成比:

16.86%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

189,220.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックハウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	0.06%		バックハウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
型わく工	35.12%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	22.46%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	8.85%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	1.94%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	16.52%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.06%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0029

現場打ち集水桝・街渠桝(本体)

SPK25040104

单第0 -0011 表

18-8-40BB

1.44m³を超え1.52m³以下

1

箇所 当り

機械構成比: 0.06%

勞務構成比: 83.08%

材料構成比: 16.86%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

189,220.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0030

蓋版

SDT00017

單第0 -0012 表

材料別途 40<重量 170

枚 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0031

4号集水枋

V000000200

單第0 -0013 表

1 箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0032

コンクリート

SPK25040157

単第0 -0014 表

小型構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 41.15%

材料構成比: 58.85%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

36,756.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	22.25%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.19%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	7.69%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	58.85%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=2 小型車割増有		

施工単価表

型枠
一般型枠
機械構成比: 0.00%

SPK25040159
小型構造物
労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0015 表

1
標準単価:

m2 当り
9,147.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	44.28%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.82%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.86%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

施工単価表

頁0 -0034

基礎碎石

SPK25040034

単第0 -0016 表

碎石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 5.04% 労務構成比:

74.10%

材料構成比: 20.86%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,335.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	5.01%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	35.62%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	15.04%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	13.95%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	8.98%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40~0mm	16.17%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	4.66%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0035

基礎碎石

SPK25040034

單第0 -0016 表

碎石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下

RC-40

機械構成比: 5.04% 労務構成比: 74.10%

材料構成比: 20.86%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：¹

m2 当り
1,335.60000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0036

モルタル練
高炉

SPK25040158

単第0 -0017 表

1
標準単価： 102,720.00000
m3 当り

機械構成比： 0.00% 労務構成比： 82.04% 材料構成比： 17.96% 市場単価構成比： 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	54.42%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	27.46%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
セメント(袋) 高炉B種 25kg/袋	12.48%		セメント 高炉B 25kg袋入		TTPC00063 TTPT00063
コンクリート用砂 細目(洗い)	5.48%		砂 細目(洗い)		TTPC00066 TTPT00066
積算単価			積算単価		EP001
A=1 高炉			B=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0037

水抜き穴

V000000300

單第0 -0018 表

10

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0038

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)

SPK25040114

単第0 -0019 表

削孔深さ30mm以上200mm未満

1

孔 当り

機械構成比: 2.15% 労務構成比: 95.53% 材料構成比: 2.32% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 684.28000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音	1.03%		<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音		KTPC00041 KTPT00041
その他 電動ハンマドリル 穴あけ能力 φ 38 ~ 40mm	0.72%		電動ハンマドリル 穴あけ能力 φ 38 ~ 40mm		MTPC00146 MTPT00146
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	45.54%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	18.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.59%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.89%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0039

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)

SPK25040114

單第0 -0019 表

削孔深さ30mm以上200mm未満

1

孔 当り

機械構成比: 2.15% 勞務構成比: 95.53%

材料構成比: 2.32%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

684.28000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0040

ドレーン管接続管

V000000400

單第0 -0020 表

1 箇所 当り

備考

单第0-0019 表

[illegible]

施工単価表

頁0 -0041

構造物とりこわし工(無筋構造物)

SDT00031

單第0 -0021 表

1 m3 当り

機械施工

[illegible]

施工単価表

頁0 -0042

舗装版切断
アスファルト舗装版
機械構成比: 15.05% 労務構成比: 58.43% 材料構成比: 26.52% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040307
アスファルト舗装版厚15cm以下

単第0 -0022 表
1 m 当り
標準単価: 700.44000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	10.24%		コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.96%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.88%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	22.39%		コンクリートカッターブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.81%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0043

鋪裝版切断

SPK25040307

單第0 -0022 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当口

機械構成比: 15.05%

勞務構成比：

58.43%

材料構成比: 26.52%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

700.44000

[illegible]

施工単価表

舗装版破碎積込(小規模土工)

SPK25040018

単第0 -0023 表

1

m2 当り

機械構成比: 20.13% 労務構成比: 71.97% 材料構成比: 7.90% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,747.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	20.13%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	71.97%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	7.90%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

殻運搬
吹付法面とりこわし(モルタル)
機械構成比: 20.72% 労務構成比: 65.82% 材料構成比: 13.46% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040155
DID区間無し 運搬距離18.0km以下(13.5km超)

単第0 -0024 表
1
標準単価: 3,981.00000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>ダンプトラック 積載質量4t	20.72%		ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4t積級		KTPC00055 KTPT00055
運転手(一般)	65.82%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	13.46%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=4 吹付法面とりこわし(モルタル) C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=55 運搬距離18.0km以下(13.5km超)		

施工単価表

殻運搬
舗装版破碎
機械構成比: 20.25%

SPK25040155
DID区間無し 運搬距離17.0km以下(12.0km超)
労務構成比: 71.03%

単第0 -0025 表
材料構成比: 8.72%

1
標準単価: 9,934.70000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	20.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	71.03%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	8.72%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=4 機械積込(小規模土工) D=53 運搬距離17.0km以下(12.0km超)		

施工単価表

頁0 -0047

表層(車道・路肩部)

SPK25040244

単第0 -0026 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚40mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.43%

労務構成比: 44.34%

材料構成比: 55.23%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,891.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t	0.24%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40～60kg	0.13%		振動コンパクト 前進型 運転質量40～60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.57%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	14.05%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.28%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)	50.52%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00024 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	4.48%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026

施工単価表

頁0 -0048

表層(車道・路肩部)

SPK25040244

単第0 -0026 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚40mm

1

1

2,891.10000

機械構成比: 0.43%

労務構成比: 44.34%

材料構成比: 55.23%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

当り

代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油		0.17%		ガソリンレギュラースタンド			TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油		0.03%		軽油パトロール給油			TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)				その他(材料)			EZ009
積算単価				積算単価			E9999
A=1 C=7 G=2 I=1	平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 再生密粒度アスファルト混合物(13) 小型車割増有 -(全ての費用)			B=40 E=2 H=1	1層当り平均仕上り厚(mm) PK-3 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):40.000(mm)							

施工単価表

頁0 -0049

上層路盤(車道・路肩部)

SPK25040237

単第0 -0027 表

RM-30

全仕上り厚100mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 11.57% 労務構成比: 37.08% 材料構成比: 51.35% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 637.83000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	7.99%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10～12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	1.00%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量13～14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	0.99%		<賃>タイヤローラ 質量13～14t		KTPC00074 KTPT00074
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	16.31%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	5.97%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	5.32%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	4.37%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0050

上層路盤(車道・路肩部)

SPK25040237

単第0 -0027 表

RM-30 全仕上り厚100mm 1層施工 1 m2 当り
機械構成比: 11.57% 労務構成比: 37.08% 材料構成比: 51.35% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 637.83000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生粒度調整碎石 30～0mm	47.84%		再生粒度調整碎石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPC00010 TTPT00357
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=5 RM-30 H=1 -(全ての費用)			E=100 全仕上り厚(mm)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0051

区画線設置(熔融式)

SDT00001

単第0 -0028 表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_熔融式(手動)【手間のみ】 実線_15cm 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 熔融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15～18% 白	598.500	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106～0.850mm	26.250	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	26.250	kg			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	42.000	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 C=1 実線_15cm E=1 アスファルトに設置の場合			B=1 白色 D=1 塗布厚t=1.5mm F=1 時間的制約なし		
G=1 - I=1 -			H=1 - J=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0052

区画線設置(熔融式)

SDT00001

單第0 -0028 表

実線 15cm

m

当日

[illegible]

施工単価表

頁0 -0053

ポリエチレン管据付工

SQ105

單第0 -0029 表

呼び径 25 mm

10

m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0054

ポリエチレン管継手工

SQ106

單第0 -0030 表

口 当り

呼び径 25 mm

[illegible]

施工単価表

頁0 -0055

管埋設シート工

VSE500

單第0 -0031 表

巾15cm 2倍折込式【材工共】

地色:青,文字色:白

100

m

当日

[illegible]

施工単価表

頁0 -0056

管明示シート工（青地，白文字）

SQ061

單第0 -0032 表

100

m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0057

ポリエチレン管切断
呼び径 25 mm

SQ110

單第0 -0033 表

口 当り

[illegible]

本 工 事 （ 付 帯 工 事 ） 費 内 訳 書

元町古宮線

工 種	種 別	細 別	形状・寸法	単位	数 量	計上数量	摘 要
土 工							
	床 掘		砂質土	m3	45.3	50	
	埋 戻	(D)		m3	16.4	20	
	〃	コンクリート		m3	12.6	13	
	残 土		砂質土	m3	10.5	10	
	舗装版切断			m	125.2	125	
	取壊し	コンクリート	無 筋	m3	13.5	14	
	〃	アスファルト	t=4cm	m2	72.2	73	
	ガラ運搬	コンクリート	無 筋	m3	13.5	14	
	〃	アスファルト		m3	2.9	3	
	産業廃棄物処理	コンクリート	無 筋	t	31.7	32	13.5×2.35
	〃	アスファルト	舗装殻	t	6.8	7	2.9×2.35
排水工							
	自由勾配側溝	300×300～500		m	116.4	116	
	〃	コンクリート蓋	L=500	枚	67.0	67	
	〃	グレーチング蓋	L=1000	枚	20.0	20	
	〃	300×300	2000	本	21.0	21	標準型
	〃	〃	1300/1348	本	1.0	1	斜切
	〃	〃	548/500	本	1.0	1	斜切
	〃	〃	494/518	本	1.0	1	斜切
	〃	〃	1009/1048	本	1.0	1	斜切
	〃	300×400	2000	本	24.0	24	標準型
	〃	〃	1740/1712	本	1.0	1	斜切
	〃	〃	1200/1228	本	1.0	1	斜切
	〃	300×500	2000	本	8.0	8	標準型
	〃	〃	1185/1225	本	1.0	1	斜切
	〃	〃	1246/1218	本	1.0	1	斜切
	〃	〃	1335/1363	本	1.0	1	斜切
	L型側溝	プレキャスト	PL2	m	7.2	7	
	1号柵	現場打ち	900×900×1400	ヶ所	1.0	1	
	4号柵	現場打ち	300×300×500	ヶ所	1.0	1	
	水抜き穴		φ 50	ヶ所	45.0	45	
	給水管敷設替			ヶ所	10.0	10	

土 工 集 計 表

種 別				単位	数 量				合 計	摘 要	
					本線	作業土工		その他			
						左側	右側				
掘削				m ³					0.0	①=A	
	C (SE)		砂質土	//					0.0	A	
盛土				m ³					0.0	②=B	
	B			//					0.0	B	
床掘				m ³					45.3	③=C+D×0.3	
	E (SE)		砂質土	//		45.3			45.3	C	
	E (K)	t=30cm	耕作土	m ²					0.0	D	
埋戻				m ³					16.4	④=E+F+G×0.3	
	Fu (C)	(C)		//					0.0	E	
	Fu (D)	(D)		//		16.4			16.4	F	
	Fu (K)	t=30cm	耕作土	m ²					0.0	G	
	Fu (Co)	コンクリート		m ³		12.6			12.6		
基面整正	K		砂質土	m ²		75.2			75.2		
取壊し	Co	コンクリート取壊	無筋	m ³		13.5			13.5	H	
		コンクリート取壊	鉄筋	m ³					0.0	I	
	As	アスファルト剥取	t=4cm	m ²		72.2			72.2	J	
ガラ処分		コンクリート	無筋	m ³					13.5	=H	
		コンクリート	鉄筋	m ³					0.0	=I	
		アスファルト		m ³					2.9	=J×0.04	

$$\begin{aligned}
 \text{残土 (砂質土)} &= (\text{①} + \text{C}) - (\text{②} + \text{E} + \text{F}) \times 1/0.9 \\
 &= (0.0 + 23.8) - (0.0 + 0.0 + 12.0) \times 1/0.9 \\
 &= 10.5\text{m}^3
 \end{aligned}$$

土 工（取壊：左側）

数 量 計 算 書

測 点	区間距離	As : アスファルト舗装			Co : コンクリート（無筋）								
		幅	平均	平積	断面	平均	立積						
	－	1.0			0.1								
	7.2	1.0	1.00	7.2	0.1	0.10	0.7						
	－	0.5			0.1								
SP, 1	3.3	0.5	0.50	1.7	0.1	0.10	0.3						
EC, 1	9.7	0.7	0.60	5.8	0.1	0.10	1.0						
NO, 1	1.7	0.6	0.65	1.1	0.1	0.10	0.2						
NO, 2	20.0	0.5	0.55	11.0	0.1	0.10	2.0						
NO, 3	20.0	0.7	0.60	12.0	0.1	0.10	2.0						
BC, 2	15.0	0.6	0.65	9.8	0.1	0.10	1.5						
NO, 4	4.7	0.6	0.60	2.8	0.1	0.10	0.5						
SP, 2	1.8	0.6	0.60	1.1	0.1	0.10	0.2						
EC, 2	6.6	0.5	0.55	3.6	0.2	0.15	1.0						
NO, 5	11.1	0.4	0.45	5.0	0.1	0.15	1.7						
NO, 6	20.0	0.5	0.45	9.0	0.1	0.10	2.0						
	4.1	0.5	0.50	2.1	0.1	0.10	0.4						
	m			m ²			m ³						
合 計	125.2			72.2			13.5						

作業土工（左側）

数 量 計 算 書

測 点	区間距離	E(SE)：床掘（砂質土）			Fu(D)：埋戻（D）			K：基面整正			Fu(Co)：コンクリート		
		断面	平均	立積	断面	平均	立積	幅	平均	平積	幅	平均	平積
	－	0.3			0.1			0.6			0.1		
	7.2	0.3	0.30	2.2	0.1	0.10	0.7	0.6	0.60	4.3	0.1	0.10	0.7
	－	0.6			0.1			0.6			0.1		
SP, 1	3.3	0.6	0.60	2.0	0.1	0.10	0.3	0.6	0.60	2.0	0.1	0.10	0.3
EC, 1	9.7	0.3	0.45	4.4	0.1	0.10	1.0	0.6	0.60	5.8	0.1	0.10	1.0
NO, 1	1.7	0.3	0.30	0.5	0.1	0.10	0.2	0.6	0.60	1.0	0.1	0.10	0.2
NO, 2	20.0	0.3	0.30	6.0	0.1	0.10	2.0	0.6	0.60	12.0	0.1	0.10	2.0
NO, 3	20.0	0.4	0.35	7.0	0.2	0.15	3.0	0.6	0.60	12.0	0.1	0.10	2.0
BC, 2	15.0	0.3	0.35	5.3	0.2	0.20	3.0	0.6	0.60	9.0	0.1	0.10	1.5
NO, 4	4.7	0.8	0.55	2.6	0.3	0.25	1.2	0.6	0.60	2.8	0.1	0.10	0.5
SP, 2	1.8	0.4	0.60	1.1	0.2	0.25	0.5	0.6	0.60	1.1	0.1	0.10	0.2
EC, 2	6.6	0.3	0.35	2.3	0.1	0.15	1.0	0.6	0.60	4.0	0.1	0.10	0.7
NO, 5	11.1	0.3	0.30	3.3	0.1	0.10	1.1	0.6	0.60	6.7	0.1	0.10	1.1
NO, 6	20.0	0.4	0.35	7.0	0.1	0.10	2.0	0.6	0.60	12.0	0.1	0.10	2.0
	4.1	0.4	0.40	1.6	0.1	0.10	0.4	0.6	0.60	2.5	0.1	0.10	0.4
	m			m ³			m ³			m ²			m ³
合 計	125.2			45.3			16.4			75.2			12.6

舗装工 (左側:車道舗装 As4-10)

数 量 計 算 書

測 点	区間距離	W1 : 表層			W2 : 路盤								
		幅	平均	平積	幅	平均	平積						
	-	0.30			0.30								
	7.2	0.30	0.30	2.2	0.30	0.30	2.2						
	-	0.30			0.30								
SP, 1	3.3	0.30	0.30	1.0	0.30	0.30	1.0						
EC, 1	9.7	0.30	0.30	2.9	0.30	0.30	2.9						
NO, 1	1.7	0.30	0.30	0.5	0.30	0.30	0.5						
NO, 2	20.0	0.30	0.30	6.0	0.30	0.30	6.0						
NO, 3	20.0	0.30	0.30	6.0	0.30	0.30	6.0						
BC, 2	15.0	0.30	0.30	4.5	0.30	0.30	4.5						
NO, 4	4.7	0.30	0.30	1.4	0.30	0.30	1.4						
SP, 2	1.8	0.30	0.30	0.5	0.30	0.30	0.5						
EC, 2	6.6	0.30	0.30	2.0	0.30	0.30	2.0						
NO, 5	11.1	0.30	0.30	3.3	0.30	0.30	3.3						
NO, 6	20.0	0.30	0.30	6.0	0.30	0.30	6.0						
	4.1	0.30	0.30	1.2	0.30	0.30	1.2						
	m			m ²			m ²						
合 計	125.2			37.5			37.5						

L型側溝 延長調書						
左 側				右 側		
測点・位置		延 長	摘 要	測点・位置		延 長
No, 0+1.2	～ No, 0+8.4	7.2	P L2-B300-H 100			
計		7.2 m		計		
				合 計		7.2 m

自由勾配側溝 延長調書						
左 側				右 側		
測点・位置		延 長	摘 要	測点・位置		延 長
No, 0+8.0	～ No, 6+4.0	116.4	B300-H300～500	No, 1+0.0	～ No, 3+17.5	
				No, 4+18.3	～ No, 5+16.0	
				No, 5+16.5	～ No, 6+2.3	
300×300	L=2000		21本	300×300	L=2000	
				300×300	L=1000	
300×300	暗渠型		4本	300×300	暗渠型	
300×400	L=2000		24本	300×400	L=2000	
300×400	L=1000		1本			
300×400	暗渠型		2本			
300×500	L=2000		1本	300×500	L=2000	
300×500	暗渠型		2本			
				300×600	L=2000	
				300×600	暗渠型	
計		116.4 m		計		
				合 計		116.4 m

1号桧 延 長 調 書					
左 側			右 側		
測点・位置	箇 所	摘 要	測点・位置	箇 所	摘 要
NO. 6+4. 0	1. 0				
計	1. 0ヶ所		計		
			合 計	1. 0ヶ所	

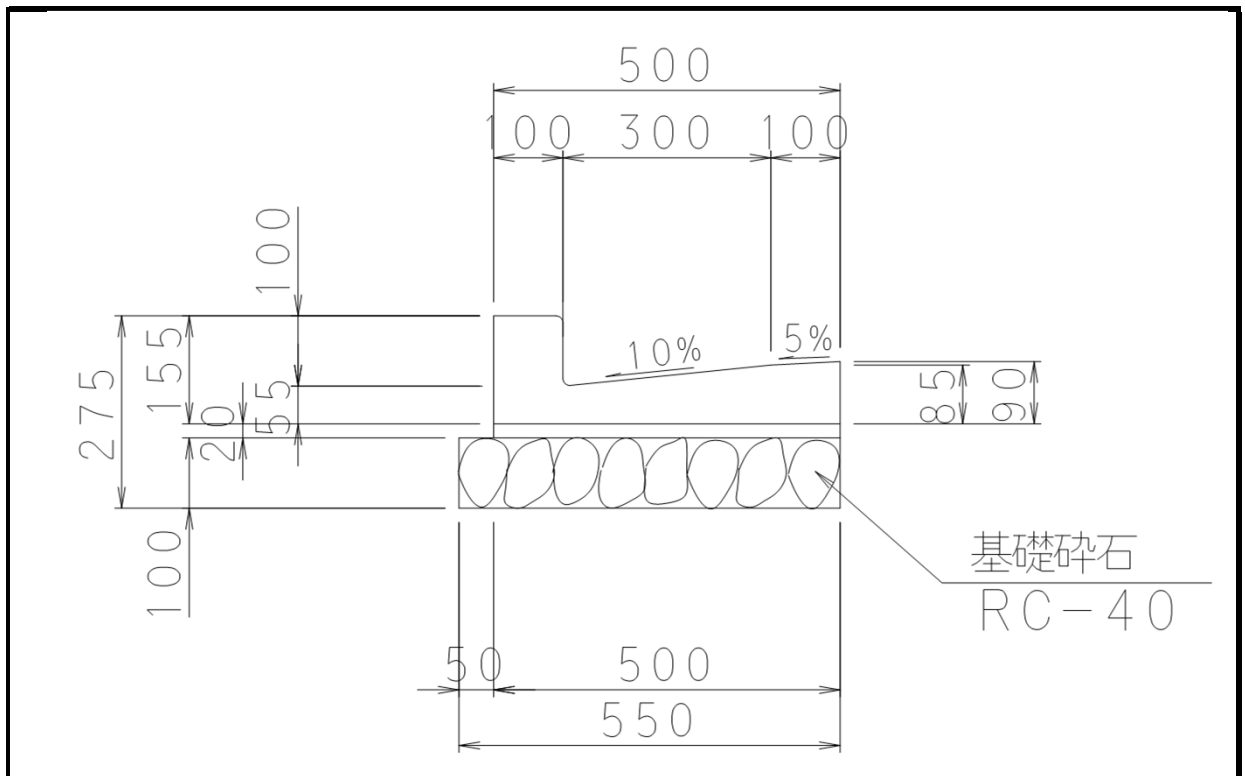
4号桧 延 長 調 書					
左 側			右 側		
測点・位置	箇 所	摘 要	測点・位置	箇 所	摘 要
NO, 0+8. 0	1. 0				
計	1. 0ヶ所		計		
			合 計	1. 0ヶ所	

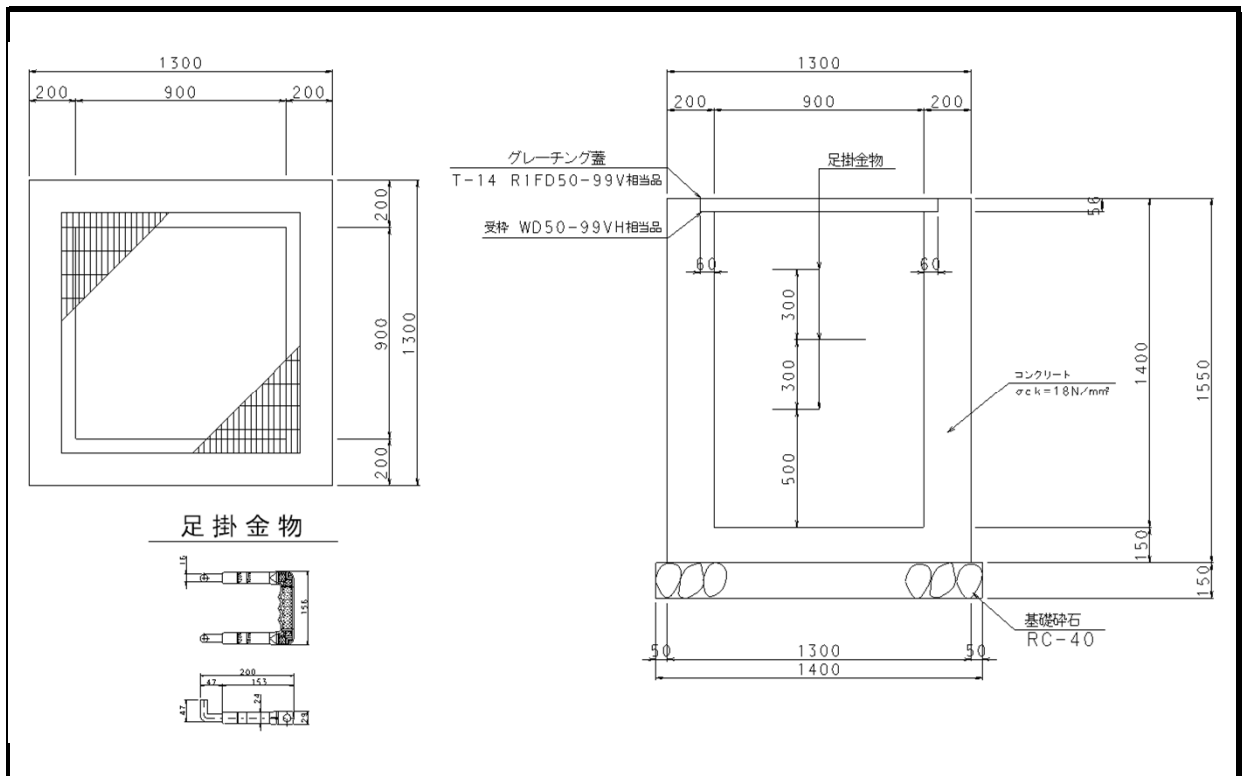
Vu φ 100 延 長 調 書					
左 側			右 側		
測点・位置	延 長	摘 要	測点・位置	延 長	摘 要
			NO. 5+16. 0		
計			計		
			合 計		

水抜き穴 延 長 調 書					
左 側			右 側		
測点・位置	箇 所	摘 要	測点・位置	箇 所	摘 要
NO. 0+12. 5 ～ NO. 1+11. 0	16. 0				
NO. 4+13. 0 ～ NO. 6+3. 8	29. 0				
計	45. 0ヶ所		計		
			合 計	45. 0ヶ所	

給水管敷設替 延 長 調 書					
左 側			右 側		
測点・位置	箇 所	摘 要	測点・位置	箇 所	摘 要
NO. 0+9. 5	1. 0		NO, 1+9. 1		
NO. 1+5. 1	1. 0		NO, 3+2. 2		
NO. 2+0. 7	1. 0		NO. 3+7. 2		
NO. 4+13. 5	1. 0		NO. 3+11. 6		
NO. 5+1. 8	1. 0		NO. 5+6. 0		
計	5. 0ヶ所		計		
			合 計	5. 0ヶ所	

ドレーン管接続 延 長 調 書					
左 側			右 側		
測点・位置	箇 所	摘 要	測点・位置	箇 所	摘 要
NO, 3+18. 0	1. 0				
計	1. 0ヶ所		計		
			合 計	1. 0ヶ所	

[illegible]

[illegible]

材 料 計 算 書

NO. 1

工 種	自由勾配側溝	施工延長 L (m)	116.381
標 準 暗 渠 ※ 施工の伸び 3 mm			

自由勾配側溝・蓋版 数量

規 a	格 h	形 状	製 品 長 L (mm)	数 量 (本)	コンクリート蓋		グレーチング蓋	
					L = 500	L = 1000	L=500	L=1000
300	300	標 準 型	2000 /	21	28			7
		暗 渠 型	1300 / 1348	1				
		暗 渠 型	548 / 500	1				
		暗 渠 型	494 / 518	1				
		暗 渠 型	1009 / 1048	1				
			/					
			/					
			/					
300	400	標 準 型	2000 /	24	28			10
		標 準 型	1000 /	1	1			
		暗 渠 型	737 / 709	1				
		暗 渠 型	1200 / 1228	1				
			/					
300	500	標 準 型	2000 /	8	10			3
		暗 渠 型	1185 / 1225	1				
		暗 渠 型	1246 / 1218	1				
		暗 渠 型	1335 / 1363	1				
			/					
合 計				63	67	0	0	20

材 料 計 算 書

NO. 2

基礎材：インバートコンクリート

規 a	格 h	インバート平均高さ	側溝の内幅	延 長	インバート量
		(h1 + h2) / 2 (m)	a / 1000 (m)	L (m)	(m3)
300	500	(0.050 + 0.065) / 2	0.300	3.900	0.067
		(0.065 + 0.158) / 2	0.300	9.338	0.312
		(+) / 2			0.000
300	400	(0.058 + 0.159) / 2	0.300	10.015	0.326
		(+) / 2			0.000
300	300	(0.059 + 0.065) / 2	0.300	0.647	0.012
		(0.065 + 0.052) / 2	0.300	7.365	0.129
		(+) / 2			0.000
300	400	(0.152 + 0.145) / 2	0.300	3.732	0.166
		(0.145 + 0.058) / 2	0.300	5.227	0.159
		(+) / 2			0.000
300	500	(0.158 + 0.135) / 2	0.300	1.395	0.061
		(0.135 + 0.105) / 2	0.300	1.853	0.067
		(0.105 + 0.161) / 2	0.300	3.353	0.134
		(+) / 2			0.000
300	400	(0.061 + 0.085) / 2	0.300	1.433	0.031
		(0.085 + 0.105) / 2	0.300	14.976	0.427
		(0.105 + 0.151) / 2	0.300	15.674	0.602
		(+) / 2			0.000
300	300	(0.050 + 0.050) / 2	0.300	4.326	0.065
		(0.050 + 0.050) / 2	0.300	20.000	0.300
		(0.050 + 0.050) / 2	0.300	13.147	0.197
		(+) / 2			0.000
合 計				116.381	3.056

基礎材：基礎碎石

標準 × 暗渠 B = 0.700 × L = 116.381 . . . 81.467
 × B = × L = . . . 0.000

合 計	81.467
-----	--------

基礎材：基礎コンクリート

標準 × 暗渠 B = 0.600 × t = 0.050 × L = 116.381 . . . 3.491
 × B = × t = × L = . . . 0.000

合 計	3.491
-----	-------

基礎材：基礎コンクリート型枠

t = 0.050 × L = 116.381 × 2 . . . 11.638
 t = × L = × 2 . . . 0.000

合 計	11.638
-----	--------

10m当り

インバートコンクリート	0.263 m3	インバートコンクリート、基礎コンクリート	0.563 m3
基礎碎石	7.00 m2	基礎碎石	0.525 m3
基礎コンクリート	0.3 m3		
基礎コンクリート型枠	1.00 m2		